

岩崎 純一 著

『岩崎純一全集』 第二卷 「序説、総記（二）」

岩崎純一（著者、総合編纂者）、岩崎純一学術研究所及び『岩崎純一全集』編纂局に関する序説

編纂、監修

岩崎純一学術研究所『岩崎純一全集』編纂局

巻頭言

本巻は、『岩崎純一全集』の第二巻を成し、著者及び総合編纂者たる岩崎純一と、その学術活動の精神的・地理的本拠たる岩崎純一学術研究所及び『全集』編纂局について述べるものである。

目次

巻頭言

第一編 岩崎純一及び岩崎純一学術研究所 (IJAI) についての解説

第一部 岩崎純一及びIJAIの定義、及び、岩崎純一の物権、所有権、知的財産権、著作権、著作者人格権、著作隣接権等の譲渡部分を除く全権の保持の確認

第二部 岩崎純一及びIJAIの連絡先、メール等

第一章 メールアドレス

第二章 手紙等（直筆・紙媒体のもの）や物品の郵送等の場合

第三部 IJAIの所員のリスト

第一章 岩崎の活動全般及び岩崎自身が主宰した旧学術サークル（現在はIJAIの内部組織へ移行）を引き継ぐIJAIの構成員

第二章 岩崎以外の者が立ち上げた岩崎関連サークル (IJAIの外部組織) に関わるIJAIの構成員

第三章 その他の現在のIJAIの構成員

第四部 IJAI第二局 (『岩崎純一全集』編纂局) 第一部の優越性と特筆性

第二編 岩崎純一及び岩崎純一学術研究所 (IJAI) の所員構成と組織

第一部 登用方法

第二部 登用される者

第三部 登用されない者

第一章 登用されない者

第二章 イエローリスト、レッドリスト及びブラックリスト

第四部 例外条件

第五部 特殊協力者の登用

第一章 精神に障害を有する者

第二章 身体に障害を有する者

第三章 一般国民生活とは異なる言語・文字体系、暦法、度量衡、慣習、住居等によって生活する者（巫女等）

第六部 岩崎純一と協力者等、協力要請者等、利用者等との権限の関係図

第七部 IJAIの組織図

第八部 女性スタッフの権限及び女性局、女性部、女性班、女性係の設置とその権限、及び女性スタッフの登用

第九部 海外からの協力、参加

第十部 規約（定款・細則・規程等）

- 第三編 「岩崎純一総合アーカイブ」(IJCA) 及び『岩崎純一全集』(IJCW) の編纂、監修、管理
- 第四編 「岩崎純一学術研究所」(IJAI) の運営
- 第五編 「岩崎式十進分類法」(IJDC) の管理
- 第六編 IJCA 及び IJCW の提供活動
 - 第一部 ウェブサイトの運営及びウェブサイト上での提供
 - 第一章 概要
 - 第二章 二〇一六年までのウェブサイト
 - 第一節 スクリーンショット
 - 第二節 サイトのメニュー
 - 第三章 二〇一七年始から年末までのウェブサイト
 - 第一節 スクリーンショット
 - 第二節 サイトの全メニュー一覧（日本語版）
 - 第三節 サイトの全メニュー一覧（英語版）
 - 第四節 サイトの全メニュー一覧（中国語版）
 - 第五節 サイトの全メニュー一覧（韓国語版）
 - 第四章 二〇一八年始から六月末までのウェブサイト
 - 第一節 スクリーンショット
 - 第二節 サイトの全メニュー一覧
 - 第五章 二〇一八年七月一日以降のウェブサイト
 - 第一節 スクリーンショット
 - 第二節 サイトの全メニュー一覧
 - 第六章 ブログ
- 第七章 二〇二二年九月一日以降のウェブサイト
 - 第一節 スクリーンショット
 - 第二節 サイトの全メニュー一覧
- 第八章 二〇二四年一月二十五日以降のウェブサイト
 - 第一節 スクリーンショット
 - 第二節 サイトの全メニュー一覧
- 第九章 ソーシャル・ネットワークワーキング、サービス (SNS) 等
 - 第二部 閲覧室の運営及び閲覧室での提供
 - 第三部 書籍、学術誌、論文集での提供
 - 第四部 外部リポジトリでの提供
 - 第五部 IJCA・IJCW への自作の収録の要望
 - 第七編 岩崎純一の外部活動（講義、フィールドワーク等）
 - 第八編 法令に基づく表示
 - 第九編 個別の活動とそれらの組織化の歴史
 - 第一部 個別の活動に係る各関係者向けの内部規程または注意・留意・表記事項の策定及びその内容
 - 第二部 二〇一一年時点の勉強会の招集の例
 - 第三部 二〇一二年十月時点の共感覚をめぐる活動体制
 - 第四部 二〇一三年四月時点の学術サークルの活動体制
 - 第五部 IJDC 体制直前までの学術サークルの活動体制…
岩崎純一の個人交流会・勉強会（二〇一一年四月二十五日より設置）及び附属・派生サークル（定款上の旧

分科会に相当）

- 第一章 開催概要
 - 第二章 交流・勉強内容
 - 第三章 ご参加条件
 - 第四章 開催場所
 - 第五章 会員制度の導入（二〇一五年七月末から）
 - 第六章 規約（定款・細則・規程等）
 - 第七章 役員名簿・会員情報（全会員数・アクティブ会員数、構成）
 - 第八章 全会員を一斉に集めない理由（私のポリシーやスタイルと、少人数制・分野別選抜制との兼ね合い）
 - 第九章 最初から私（岩崎）と一対一での面会・対談をご希望される場合
 - 第十章 開催方式（優先事項、順番待ちの仕方など）
 - 第十一章 ご参加方法（入会申込と入会許可書）
 - 第十二章 会員名簿の閲覧請求について
 - 第十三章 活動資金のご寄付・ご支援を希望される方へ
 - 第十四章 附属・派生サークル一覧（定款上の分科部局に相当）
- 第六部 岩崎以外の皆様が立ち上げて下さった勉強会の活動体制（女性グループ及び女性専用施設）
- 第一章 概要
 - 第二章 活動場所

第三章 これまでの活動記録

第七部 JDC体制直前までの部班制移行計画

（女性グループ側及び女性専用施設側からの提案に譲歩した部班制への改組計画）

第一章 概要

第二章 部班制の編制

第八部 岩崎純一関連学術グループ・サークルの変遷表

第九部 よくあるご質問と回答



二〇一二年十月十三日 起筆
二〇一五年五月十三日 改定
二〇一六年二月十七日 改定
二〇一六年二月二十一日 公開
二〇一七年三月二十六日 改定
二〇一七年九月二十三日 改定
二〇一八年四月十五日 改定
二〇一八年八月十五日 改定
二〇一八年十二月九日 改定
二〇一九年十月十四日 最終改定

第一編 岩崎純一及び岩崎純一学術研究所(IJAI)についての解説

第一部 岩崎純一及びIJAIの定義、及び、岩崎純一の物権、所

有権、知的財産権、著作権、著作者人格権、著作隣接権
等の譲渡部分を除く全権の保持の確認

岩崎純一は、「岩崎純一総合アーカイブ」(IJCA)に含まれる多くの製作物の製作者または著作物の著作者であり、『岩崎純一全集』(IJCW)に含まれるほぼ全ての製作物の製作者または著作物の著作者であり、これらの総合編纂者、総合監修者であり、「岩崎式十進分類法」(IJDC)の考案者であり、これらの編集、編纂、監修、管理、公開等及びこれらに関連または付随するあらゆる活動を行う個人である。

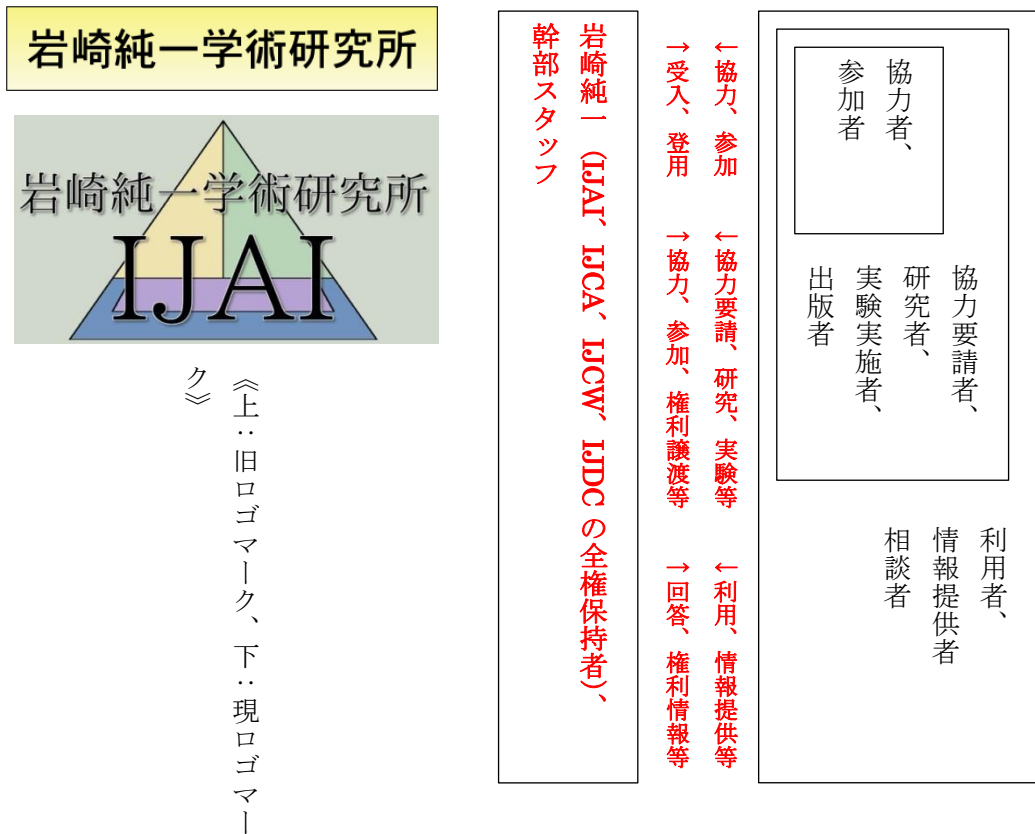
ある。

また、「岩崎純一学術研究所」(IJAI)は、IJCA及びIJCWの編纂・監修・管理等を担い、IJDCの管理等を行う非法人の団体の屋号であり、また、岩崎が一部の学術活動を行う際の屋号であり、岩崎純一を所長とし、複数の学術団体（非法人で、権利能力なき社団または民法上の組合と解されるもの）をその中に置く。

IJCA及びIJCWに含まれる岩崎純一の製作物について、その物権、所有権等は、譲渡部分を除く全部を岩崎純一が保持する。また、IJCA及びIJCWに含まれる岩崎純一の著作物について、その知的財産権、著作権、著作者人格権、著作隣接権等は、譲渡部分を除く全部を岩崎純一が保持する。IJAIは、これら岩崎純一の著作物の著作権等の管理をも行う。

これらの活動は、岩崎の日々の研究・学術・芸術・講義・講話等を網羅的に扱った総合学術活動である。「岩崎に関係のあるあらゆる物事が集められた大庭園」と形容して差し支えないであろう。好きな箇所からご自由に、ごゆっくりとご覧いただきたいものである。

これらの活動への協力者・参加者の中から選ばれたIJCA・IJCWの編纂者は、他に職（雇用形態を問わず）を持ちながら、休日等の時間において同活動に、学術的趣味を動機として有償または無償で協力・参加する有志の者である。



第二部 岩崎純一及びIJAIの連絡先、メール等

第一章 メールアドレス

第一巻にまとめて記した。

第二章 手紙等（直筆・紙媒体のもの）や物品の郵送等の場合

第一巻にまとめて記した。

第三部 IJAIの所員のリスト

第一章 岩崎の活動全般及び岩崎自身が主宰した旧学術サー

クル（現在はIJAIの内部組織へ移行）を引き継ぐIJAI
の構成員

閲覧希望者は個別に岩崎まで問い合わせよ。また、第一巻の各活動年表も見よ。

第二章 岩崎以外の者が立ち上げた岩崎関連サークル (IJAI

の外部組織) に関わるIJAIの構成員

閲覧希望者は個別に岩崎まで問い合わせよ。また、第一巻の各活動年表も見よ。

第三章 その他の現在のJIAIの構成員

別添資料を見よ。

第四部 JIAI第二局『岩崎純一全集』編纂局（第一部の優越性と特筆性

JIAI第二局は、『岩崎純一全集』（JJCW）の編纂担当部門として設置・運営され、『岩崎純一全集』（JJCW）編纂局の特称を有し、JICA及びJIAIの全活動の中心を成す。

また、中でも第二局第一部は、JJCWの資料の多くを占める言語資料を扱う部局として、JJCWの全活動の中心を成す。これに伴い、本巻で解説する各種の旧サークルについて、あるサークルのコンテンツ・資料が複数の系・群等に跨がる場合であっても、当該サークルの本部機能は第二局第一部が有するものとする。例えば、超音波知覚者コミュニティ東京の資料は、言語資料が【2系1群（主に5類3綱）】に、マップ資料は【2系6群】に分類されるが、このサークルの本部機能は、第二局第一部第五班第三係、すなわち、科学技術第一班第三係が有するものとする。

但し、その権限の優越性及び活動の特筆性は、『全集』の原作者かつ総合編纂者たる岩崎純一所長の意向、及び、別に定める所員会の決議によって担保されたものでなければならない。

第二編 岩崎純一及び岩崎純一学術研究所（JIAI）の所員構成と組織

第一部 登用方法

JIAI所員は、第三巻に定める協力者、参加者より、岩崎が登用した者である。

岩崎純一及びJIAIの活動への協力者、参加者の登用は、別途定める協力者及び参加者の登用方法により行う。

第二部 登用される者

岩崎純一は、JIAIにおいて、唯一の代表者であり、永久的構成員である。

岩崎純一及びJIAIの活動への協力者、参加者として登用されるには、別途定める条件を全て満たし、岩崎純一及びJIAIの許可を得なければならない。

第三部 登用されない者

第一章 登用されない者

岩崎純一及びJIAIの活動への協力者、参加者として登用されない者として別途定める者は、協力者、参加者として認めない。

第二章 イエローリスト、レッドリスト及びブラックリスト

第五巻を見よ。

第四部 例外条件

岩崎純一及びJIAIの活動への例外的な協力者、参加者として別途定める者は、例外的に協力者、参加者としての被登用資格を有する。

第五部 特殊協力者の登用

第一章 精神に障害を有する者

精神に障害を有する者は、別途定める被登用条件を満たす限り、岩崎が協力者、参加者として登用することがある。

第二章 身体に障害を有する者

身体に障害を有する者は、別途定める被登用条件を満たす限り、岩崎が協力者、参加者として登用することがある。

第三章 一般国民生活とは異なる言語・文字体系、暦法、度量衡、慣習、住居等によって生活する者（巫女等）

一般国民生活とは異なる言語・文字体系（古語、御所言葉、巫女言葉等）、暦法、度量衡、慣習、住居等によって生活する者（巫女等）は、別途定める被登用条件を満たす限り、岩崎が協力者、参加者として登用することがある。

第六部 岩崎純一と協力者等、協力要請者等、利用者等との権限の関係図

利用者、情報提供者、相談者（第五巻を見よ。）					岩崎純一 （第一、二巻を見よ。）	関係者種別 活動種別	
	協力要請者、研究者、実験実施者、出版者 （第四巻を見よ。）		協力者、参加者（第三巻を見よ。）				
			IJAI 所員 （第二巻を見よ。）				
			特定女性スタッフ	共 同 編纂者			
×	×	○（各自の著作物）	○（女性著述スペース）	○	○	IJCA、IJCW の編纂、監修	
×	×	×	○（女性専用スペース）	○	○	IJAI の運営	
×	×	×	△（一部のみ可）	△（一部のみ可）	○	IJDC の管理	
×	×	×	△（一部のみ可）	△（一部のみ可）	○	メインウェブサイト運営	IJCA、IJCW の提供活動
×	×	×	△（一部のみ可）	△（一部のみ可）	○	女性施設のシステム構築、女性専用ウェブスペースの提供	
○（一部の女性閲覧のみ可）	○（一部の女性閲覧のみ可）	○（一部の女性閲覧のみ可）	○	×	△（巡回）	女性専用ウェブスペースの運営（システム入室）	
○（一部の女性閲覧のみ可）	○（一部の女性閲覧のみ可）	○（一部の女性閲覧のみ可）	○	×	×	女性施設の閲覧室の設置・運営	
○（いつでも出版者に移行可）	○（出版者等）	○	○	○	○	書籍、学術誌の出版	
○（いつでも協力要請者に移行可）	○	○	○	○	○	岩崎への協力要請、仕事・実験参加依頼、取材申込等	
○	○	○	○	○	○	岩崎の著作物（IJCA、IJCW）の利用	

第七部 IJAI組織図（主系を中心に解説するが、各語を副系名称に置き換えても同様に成り立つ。副系は序巻を参照せよ。）

手 （係の兼務多し）	身 （係の兼務多し）	家 （係の兼務多し）	員 （係の兼務多し）	族 （係の兼務多し）	役 （係の兼務多し）	係	班	部 （本部は室）	局	所	岩崎純一	IJAI内の名称（「所」 以外は定款上の分科 部局に相当）
第〇手〜第九手の各十手（係の兼務多し）	第〇身〜第九身の各十身（係の兼務多し）	第〇家〜第九家の各十家（係の兼務多し）	第〇員〜第九員の各十員（係の兼務多し）	第〇族〜第九族の各十族（係の兼務多し）	第〇役〜第九役の各十役（係の兼務多し）	第〇係〜第九係の各十係	第〇班〜第九班の各十班	第〇部〜第九部の各十部	第〇局〜第九局の十局 （第〇局は本部、第二局は『全集』編集局）	岩崎純一学術研究所 （アーカイブ編集所）	所長	内部編制（所長と所と局は常置、部以下はその都度臨時設置。女性局、女性部、女性班、女性係等も各局、部、班、係等に臨時設置。）
手長（女性手長）	身長（女性身長）	家長（女性家長）	員長（女性員長）	族長（女性族長）	役長（女性役長）	係長（女性係長）	班長（女性班長）	部長（女性部長）	局長（女性局長）	所長（総称としての女性局と並列）	所長	IJAI内の各区分長の名称（括弧内は女性局の各長）
第十次区分（型式、性状分類二）	第九次区分（型式、性状分類一）	第八次区分（小見出し分類）	第七次区分（中見出し分類）	第六次区分（題目、大見出し分類）	第五次区分（年代分類）	第四次区分（学問・図書分類二）	第三次区分（学問・図書分類一）	第二次区分（製作物・著作物分類）	第一次区分（知的財産・製作者・著作者分類）	第〇次区分（総称）	IJDCの考案、作成	IJDCの 担当領域
式	型	軸	標	座	目（要目）	綱（綱目）	類（類目）	群	系	アーカイブ全体	アーカイブ全体	IJCAの 担当領域
号	項	節	章	部	編（以下、目次）	巻（通し番号）	束	集	全集	／	著述者、著作者 当人である	IJCWの 担当領域
					以下、自由。序巻も見よ。	※●●●●●※	※●●●●●※	※●●●●※	※●●※		サイトの作成、運営、管理、 女性専用スペースの設置	ウェブサイト内の担当する ディレクトリ階層 (iwasakiyuniichi.net※)

JDCの第〇次区分（記号【0】のみ）は、IJCA乃至JDCそれ自体の総体（要素の集合体）であり、IJCA乃至JDCの起点を表す記号概念であり、この最初の記号【0】に対応する部局である「第〇所」も、IJAIそのものである。

以下同様に、「第X次区分」は、これを定義するJDC自体としての一面、IJCA・JJCWとしての一面、IJAIとしての一面を全て併せ持つのである。

第一次区分の【0系】は、【1系】から【9系】までと異なり、直下に著作物分類による第二次区分を持たない。【0系】に対応するIJAIの第〇（零）局は、研究所本部（本局）であり、IJCA・JJCWの編纂においては、第二局（『全集』編纂局）第一部第〇班（序説班）第〇係（第九係として【2系1群0類】「序説、総記」全十巻を編纂・管理し、これらは【0系】の文書を兼ねる。いわば、これらが【0系】の第二次区分である。

これら十巻へのリンクは、研究所のウェブサイトの【0系】総合案内メニューとしても分かりやすく設置される。（詳しくは序巻も参照せよ。総合案内メニューとしてのタイトルも、序巻で述べる。）

なお、各部班どうしの関係は、概ね次の通りである。

● 「所」以下「手」までのそれぞれの人的組織ないしそれらの総称を、「部班」または「部局」という。定款上は、「分科部局」と称する。副系の場合、第一～三次区分は「学団」、第四～十次区分は「学級」という。序巻も参照せよ。

● ある一つの第X次区分の部班は、その配下にある十の第X+1次区分の部班の全部を含む。

● ある一つの第X次区分の部班の長は、その配下にある十の第X+1次区分の部班の長を取りまとめる。

● ある一つの第X+2次区分の部班の長は、昇格の際には必ず第X+1次区分や第X次区分の長となる。

● ある一つの第X次区分の部班は、その長（A）と、その配下にある十の第X+1次区分の部班の全部（B）から成る。但し、（B）の各部班の長は、（B）の他の構成員を代表して、長（A）との会合等を行う全権を有する。

● 配下に部班が存在しない部班（すなわち、第十次区分の「手」は、その長と、その同一部班の構成員から成る。

また、部局には特称を持つ部局があり、概ね次の通りである。

正式名称…主系特称（副系特称）、の順に記す。副系名称のみを記載している場合は、序巻に述べる通り、IJAIを一つの学団と見なしたときの呼称（女性スタッフによるIJAIの仮想学団構想の提案を受けて岩崎が考案した呼称）を指す。

● 岩崎純一学術研究所 (IJAI) (岩崎純一学術研究学園、岩崎純一学園)
● 第〇局…岩崎純一学術研究所本部 (本堂) 十室
前述の通り、序説班第〇係（第九係）を兼ねる。

- ※ 第〇局第〇部：IJCA・IJCW・IJAI・IJDIC 統括、法令調査・図書館情報学等研究室（統括研究院・図書館情報学府）
 - ※ 第〇局第一部：岩崎純一活動総覧室（総覧院）
 - ※ 第〇局第二部：研究所・『全集』編纂局活動総覧室（研究学園・『全集』総覧院）
 - ※ 第〇局第三部：協力者等対応・登用室（登用院）
 - ※ 第〇局第四部：協力要請者等対応・外部活動管理室（外部活動管理院）
 - ※ 第〇局第五部：利用者等サービス・著作権管理室（著作権管理院）
 - ※ 第〇局第六部：編纂方針・提供方法管理室（編纂指針院）
 - ※ 第〇局第七部：電子情報システム室（情報システム管理院）
 - ※ 第〇局第八部：IJCA 以前史料編纂室（第一史料編纂院）
 - ※ 第〇局第九部：IJCA 以後史料編纂室（第二史料編纂院）
 - 第一局：（岩崎純一製作資料学堂）
 - 第二局：『岩崎純一全集』編纂局（『岩崎純一全集』編纂学堂、岩崎純一著作資料学堂）
- 第二局は、第〇局を除く他局に比して優越性を持ち、他局の同階層・同分野の班をも統括する。それら他局の班には特称はなく、第二局の班の特称で呼び、実態としても第二局の班に附属して活動する。
- ※ 第二局第一部：『全集』編纂局第一部（『全集』編纂院）
 - ▼ 第二局第一部第〇班：序説班（序説団）

- 第三局：（利用製作資料学堂）
- ▼ 第二局第一部第九班：芸術第三班（第三団）
- ▼ 第二局第一部第八班：芸術第二班（第二団）
- ▼ 第二局第一部第七班：芸術第一班（第一団）
- ▼ 第二局第一部第六班：科学技術第二班（第二団）
- ▼ 第二局第一部第五班：科学技術第一班（第一団）
- ▼ 第二局第一部第四班：社会科学第二班（第二団）
- ▼ 第二局第一部第三班：社会科学第一班（第一団）
- ▼ 第二局第一部第二班：人文科学第二班（第二団）
- ▼ 第二局第一部第一班：人文科学第一班（第一団）
- 第四局：（利用製作資料学堂）
- 第五局：（私蔵貴重製作資料学堂）
- 第六局：（私蔵貴重著作資料学堂）
- 第七局：（提供製作資料学堂）
- 第八局：（提供著作資料学堂）
- 第九局：（他資料学堂）
- 女性局及び【女性系】の特称の仕方（副系名称に置き換えても同じ。）
- ※ 第A局、第B部、第C班、第D係などの女性部班は、それぞれ第A女性局、第B女性部、第C女性班、第D女性係などと特称する。
- ※ これら女性部門の総称が「女性局」である。「第X女性局」と言わず、単に「女性局」と言う場合は、第〇～第九女性

局の総称であり、「所」と半ば並列的な立場にある。

※ 第〇女性局は、女性局本部（女性室）とも特称する。

※ 第二女性局は、『岩崎純一全集』編纂女性局とも特称する。

※ 【A系】、【B群】、【C類】、【D綱】などの女性編纂別添資料アーカイブは、それぞれ【A女性系】、【B女性群】、【C女性類】、【D女性綱】などと特称する。

第八部 女性スタッフの権限及び女性局、女性部、女性班、女性係の設置とその権限、及び女性スタッフの登用

第六巻に定める通り、IJCA 及び IJCW の資料の執筆・制作者である女性または編纂に関わる女性は、自身の精神、身体、生命の安全を脅かすおそれがあるために全部を公表・開示できない自身の製作物・著作物、編纂資料またはこれらに対して有する物権的請求権、著作権、著作者人格権、肖像権等の取り扱いについて取り決め、総合編纂者たる岩崎純一に提示、要請し、IJCA 及び IJCW に反映させることができる。

また、これらの資料または権利のうち個人で取り扱うことが困難であるものについては、女性編纂者らが女性著作者らを代表して、それらの取り扱いを協議し取り決めるための女性局、女性部、女性班、女性係を設置し、その協議結果を岩崎純一に提示、要請し、IJCA 及び IJCW に反映させることができる。

加えて、特にその聡明さが認められる女性は、第四巻及び第五巻

に定める岩崎からの逆要請または個別の要請を受け、IJAI のサイト内の女性専用スペースにログインして IJCW の編纂の一部に協力・参加する権限を得ることができる。

とりわけ、岩崎に対して女性に特有である自身の精神・身体症状や共感覚、その他の特殊知覚・症状を相談し、これらについての解説の一部を IJCW において執筆し、編纂者に登用された、なかなか聡明な女性については、女性専用スペースの管理・運営を行う権限を与えられ、これらの女性が入居者の多くを占める女性寮やシェアハウス等のシステム室の機械的な構築及び電子的な技術提供を岩崎に対して要求する権限を有する。

詳細は、「精神・身体症状、共感覚、その他の特殊知覚・症状の解説の分担などについて」をも参照されたい。

第九部 海外からの協力、参加

海外に居住する日本人及び日本国籍以外の国籍を有する者（居住地を問わず）は、第三巻で述べる通り、限定的な協力者、参加者たることができる。

但し、これらの者が IJAI の所員及び IJCA・IJCW の編纂者として登用される可能性とその協力内容は、日本国籍を有する日本国居住者（日本人）の協力者、参加者に比して、大幅に限定されたものとなる。

第十部 規約（定款・細則・規程等）

次に掲げる規約は、第九編に述べる旧研究会活動の規約を引き継ぐもので、本研究所の一般社団法人への移行を仮定して、その一部の用語の読み替え及び一部の条項の改定により、法人法上の定款等として直接に転用できるものとして定めるものである。

この規約は、IJAIの一般社団法人への移行の可能性を法的に研究するために作成するものであり、かつIJAIの運営に直接携わる所長及び所員に適用されるものであるから、これらの者が理解すれば足り、一般の利用者等がIJCA及びIJCWを利用するにあたっては理解を要しない。

また、これらの規約が法令上の定款等として正式に公証人の認証を受けない期間は、各条・項・号は、IJCWの編・部・章・節に仮想的に置き換えて編集する場合がある。

- 定款（別添資料を見よ。）
- 幹部所員及び監事規程（別添資料を見よ。）
- 所員規程（別添資料を見よ。）

第三編 「岩崎純一総合アーカイブ」(IJCA) 及び

『岩崎純一全集』(IJCW) の編纂、監修、管理

岩崎純一は、IJCAの編集、編纂、監修、管理及びIJCWの著作、

編集、編纂、監修、管理の大部分を行う。

協力者、参加者のうち、岩崎より許可された一部の者は、IJCA及びIJCWの編集、編纂、監修、管理に直接携わることができる。

IJCA及びIJCWの岩崎純一の著作物などのメタデータ（電磁的記録や紙媒体の概要、書誌情報、保存形式、著作権情報等）は、岩崎が構築した別掲のシステムに記録され、IJCA及びIJCWの多くの部分は後述するウェブサイトにて公開、提供される。

IJCAの全体は、著作物等のメタデータ及び内容の集合体であり、IJAIの機関リポジトリであると見なすことができることから、これを「岩崎純一製作物・著作物等目録及びリポジトリ」と称することがある。

第四編 「岩崎純一学術研究所」(IJAI) の運営

岩崎純一は、IJAIの運営の大部分を行う。

但し、協力者、参加者のうち、岩崎より許可された者は、IJAIの運営に直接携わることができる。

第五編 「岩崎式十進分類法」(IJDC) の管理

岩崎純一は、IJDCの管理の大部分を行う。

但し、協力者、参加者のうち、岩崎より許可された者は、IJDCの管理に直接携わることができる。

第六編 IJCA 及び IJCW の提供活動

第一部 ウェブサイトの運営及びウェブサイト上での提供

第一章 概要

岩崎純一は、IJAI のウェブサイトの作成、運営、管理、編集、更新の大部分を行う。

ウェブサイトの元の名称は「岩崎純一のウェブサイト」であったが、現在の名称は「岩崎純一学術研究所 (IJAI)」である。

協力者、参加者のうち、岩崎より許可された一部の者は、IJAI のウェブサイトの運営、管理、編集、更新に直接携わることができる。

これらを実施する場所は、別途定める場所に限る。

岩崎純一は、ウェブサイトのほか、別途掲げる女性専用施設のインターネット、プライベート・ネットワーク、情報管理システム、システム室の機械的構築及び電子的構築を行い、遠隔管理を含む管理を行う一方で、施設全体及び後述する閲覧室の運営には関与しない。

第二章 二〇一六年までのウェブサイト

二〇一八年四月二十二日 起筆、攔筆、公開

第一節 スクリーンショット



第二節 サイトのメニュー

後述する各学術サークルが扱う分野のそれぞれに対応するサイト内のコーナーがあった。

但し、この時期までは、学術サークルの中にも未だ明確に成立していないサークルもあり、各学術分野のページもあくまでもサイト

内のコーナーであった。

第三章 二〇一七年始から年末までのウェブサイト

二〇一八年四月二十二日 起筆、攞筆、公開

第二節 スクリーンショット





総合的なメインメニューの下に活動分野別の特設サイトが展開する形式となり、より整然と組織化された。それぞれの特設サイトは、

第二節 サイトの全メニュー一覧（日本語版）



これまでにサイトを通じて誕生したサークルに対応している。個人交流会・勉強会の附属・派生サークル一覧の説明を参照されたい。極めて膨大な学術コンテンツを抱えるサイトへと発展したため、メニューページには、メニュー一覧と共に、冒頭に次の文言を記載することとなった。

また、メニュー一覧の英語、中国語、韓国語版ページを設置した。

二〇〇四年一月十日 起筆

二〇〇四年四月二十四日 公開

二〇一四年十月四日 更新

二〇一七年九月二十三日 更新

二〇一七年十月八日 最終更新

メニュー一覧

- 岩崎純一のウェブサイト・ブログは膨大な文字量とコンテンツ量を有します。場所が不明な場合は、随时お問い合わせ下さい。

- ・ 岩崎純一のウェブサイト…総合トップページ
 - 岩崎純一総合アーカイブ
 - 自己紹介と活動理念

- 活動総覧（分野別、年表）
 - 自己紹介・プロフィール
 - 好きな物事・趣味
- 活動総覧（分野別、年表）
 - 分野別の活動総覧
 - 人文・社会学分野での活動年表
 - 自然科学分野での活動年表
 - 著書（電子書籍版あり）
 - 研究会・講義テキスト
 - 掲載媒体
 - 講義、学術調査、実験協力を行った大学などの一覧
 - 個人交流会・勉強会
 - サイトの歴史と私の共感覚などの変遷
- 岩崎純一学術研究所（個人事業としての屋号）
 - ご連絡・メール
 - ご連絡・メールトップ
 - 公式メール（学術関係、仕事のご依頼など）について
 - 個人メール（ご質問、私信など）について
 - メールフォーム
 - ご訪問者向けの各種表記
 - ご訪問者向けのご留意事項

- 法令に基づく表示
 - メールフォーム
 - ブログ
 - メインブログ（人文社会 一）
 - メインブログ（人文社会 一）
 - 過去のブログ記事
 - 第二ブログ（人文社会 二）
 - 第二ブログ（人文社会 二）
 - 過去のブログ記事
 - 第三ブログ（自然科学、IT）
 - 第三ブログ（自然科学、IT）
 - 過去のブログ記事
 - サイト更新情報ブログ（主な更新情報）
 - 著書・文書類
 - 著書（電子書籍版あり）
 - 研究会・講義テキスト
 - 過去のブログ記事
 - 過去のTwitter記事
 - 人物評論
 - 活動分野別の特設サイト
 - 【特設サイト】知覚・共感覚
 - 知覚・共感覚トップ
 - 私の知覚世界の解説など
-
- 【特設サイト】岩崎純一の共感覚記憶データベース
 - 岩崎純一の共感覚記憶データベース 3版
 - 基本的な共感覚（初公表時）
 - 基本的な共感覚の続編
 - 応用的な共感覚
 - 直観像記憶と共感覚
 - 喪失した共感覚
 - 共感覚に関連する知覚様態・症状
 - 私の共感覚などの変遷
 - 著書（電子書籍版あり）
 - 共感覚者としての活動
 - 共感覚Q&A
 - 自作CG（3D）共感覚ゲーム
 - 知覚・共感覚関連リンク
 - 【特設サイト】日本共感覚研究会
 - 日本共感覚研究会トップ
 - 研究会概要と会長挨拶
 - 調査報告書・議事録
 - 役員名簿、役員・会員資格
 - 定款・細則・規程
 - 日本の共感覚研究史と本会の沿革

- 共感覚の定義標準化・研究協力・学会設立法務活動
 - 共感覚に関する研究動向および社会的諸問題の調査・追跡活動
 - 共感覚に関連する知覚様態・症状
 - ご質問・ご相談や通報の例
 - 超音波知覚研究
-
- 【特設サイト】 超音波知覚研究
 - 超音波知覚者コミュニティ東京
 - 代表者岩崎純一の超音波知覚報告者、注意事項、ご報告先
 - 扱っている超音波発生源、求めている情報
 - 都内超音波スポット報告マップ
 - 超音波知覚者の症状、身の守り方
 - 最近の超音波事情
 - 超音波装置過密地区と迂回路
 - コウモリ研究者との合同調査、超音波知覚の検証
 - 行政機関による法的処分、科学者による警告
 - 超音波の擬音語表現
 -
 - 【特設サイト】 人間学・哲学全般
 - 人間学・哲学全般トップ
 - 人物評論
-
- 【特設サイト】 精神病理学・精神疾患研究
 - 岩崎人間学研究会の概要
 - 未来年表
 - 精神病理学・精神疾患研究
 - 言語学・言語体系考案
 - 寿羅穂里阿文明
 - 神道・仏教研究
 - 和歌・古典
 - 郷土（岡山県）研究
 - 精神病理学・精神疾患研究トップ
 - 今までの交流の概要など
 - 精神疾患に関連する私の文章
 - 精神疾患の定義
 - 精神疾患の分類
 - 私の考え・思い・持論
 - 現代日本人の心理の例
 - 現代日本人の心理の例トップ
 - 現代日本人の心理の例（二〇一三）
 - 現代日本人の心理の例（二〇一二）
 - 現代日本人の心理の例（二〇一一）
 - 現代日本人の心理の例（二〇一〇）
 - 現代日本人の心理の例（二〇〇九）
 - 現代日本人の心理の例（二〇〇八）

- 各精神疾患の解説
 - 現代日本人の心理の例（二〇〇七）
 - 現代日本人の心理の例（二〇〇六）
 - 現代日本人の心理の例（二〇〇五）
 - 現代日本人の心理の例（二〇〇三）
 - 器質性精神障害
 - 精神作用物質による精神障害
 - 統合失調症・妄想性障害
 - 気分障害
 - コタール症候群・妄想性人物誤認症候群
 - 不安障害・恐怖症・強迫性障害・PTSD
 - 身体表現性障害
 - 解離性障害
 - 適応障害
 - 摂食障害
 - 睡眠障害
 - 性関連障害
 - 人格（パーソナリティ）障害
 - 知的障害
 - 発達障害・学習障害
 - 小児期・青年期の行動障害
-
- 精神疾患関連リンク
 - 人間学・哲学全般
 - 言語学・言語体系考案
 - 【特設サイト】言語学・言語体系考案
 - 言語学・言語体系考案トップ
 - 【特設サイト】岩崎式言語体系ペディア
 - 「言語とは何か」について
 - 現代日本語に関する実験
 - 【特設サイト】岩崎式日本語
 - 岩崎式日本語トップ
 - ◆管理部門
 - 岩崎式日本語の概要と研究会
 - 文法解説（高難度）
 - 文法解説（ステップ型解説）
 - 使用者の方々向けの注記
 - ◆使用部門
 - 使用者の概要
 - 岩崎式日本語による記録
 - 現代日本語による記録
 - 言語学・言語体系考案
 - 人間学・哲学全般
 - 精神病理学・精神疾患研究
- 岩崎式英語

- Questions
 - 言語学・人工言語関連リンク
 - 人間学・哲学全般
 - 和歌・古典
- - 【特設サイト】寿羅穂里阿文明（岩崎式文明論）
 - 寿羅穂里阿文明トップ
 - 言語学・言語体系考案
 - 精神病理学・精神疾患研究
 - 神道・仏教研究
 - 和歌・古典
 - 郷土（岡山県）研究
 - 未来年表
 - 人間学・哲学全般
- - 【特設サイト】神道・仏教研究
 - 神道・仏教研究トップ
 - 「当サイトで扱う巫女神道の比較表」
 - 『巫女神道探訪記』
 - 神道・仏教関連リンク
- - 【特設サイト】和歌・古典
 - 和歌・古典トップ
 - 自詠和歌・歌会・歌合
 - 私家集『新純星余情和歌集』
 - 『旧派歌道流派・家元総覧』
- - 詠進歌会・歌合の特設ページ
 - 和歌の使用希望・解釈依頼
 - 和歌の提供・調査研究・仕事歴
 - 和歌スケッチ（書）
 - 【特設サイト】伝統和歌の会「余情会」
 - 伝統和歌の会「余情会」トップ
 - 余情会について
 - 最近の歌会
 - 平成二十三年（二〇一一年）の歌会
 - 平成二十二年（二〇一〇年）の歌会
 - 平成二十一年（二〇〇九年）の歌会
 - 平成二十年（二〇〇八年）の歌会
 - 『新水無瀬恋十五首歌合』
 - 余情会関連リンク
 - 和歌関連リンク
 - 【特設サイト】郷土（岡山県）研究
 - 郷土（岡山県）研究トップ
 - 岡将会の概要と設立事情
 - 会員と郷土岡山
 - 日本軍大本営・中央政府による岡山の扱い
 - 帰還兵の生存状況と証言の共通点
 - 『歩兵第十連隊（鉄五四四八部隊）戦史調査資料』

- - NHK「戦争証言アーカイブス」（無料特集番組）
 - 在日米海軍司令部（CNFJ）への情報提供
 - 大東亜共栄圏内の和歌文化（歌壇）の一覧
 - 【特設サイト】作曲・音楽
 - 作曲・音楽トップ
 - 作曲家プロフィール
 - 主な楽曲の試聴
 - 楽曲のご購入・ご使用など
 - 御見積り・御注文フォーム
 - 音楽ダウンロードページ（要ログイン）
 - 過去の楽曲提供歴
 - 過去のCD
 - 好きな音楽の本
 - 音楽雑誌への寄稿
 - 音楽制作環境
 - 作曲・音楽関連リンク
 - 『花ー共感覚者30人によるー』
 - 交響組曲『月ノ巡り』
 - Poème de Pétales I
 - 花卉の詩 I
 - 【特設サイト】学術・芸術上の試み
 - 芸術・美学上の試み
-
- - その他の学術・芸術上の試み
 - 自作CG（3D）共感覚ゲーム
 - 自作CG（3D）共感覚ゲームトップ
 - 遊んでいただく前の準備
 - ゲーム「困った数字」
 - ゲーム「いじわるA（エー）」
 - ゲーム「あいうえお玉入れ」
 - ゲーム「数字ボウリング」
 - 仮想御殿「武蔵幻想邸」
 - 仮想御殿「武蔵幻想邸」の詳細図
 - - リンク
 - 講義、学術調査、実験協力を行った大学などへのリンク
 - 知覚・共感覚関連リンク
 - 精神疾患関連リンク
 - 言語学・人工言語関連リンク
 - 和歌関連リンク
 - 余情会関連リンク
 - 作曲・音楽関連リンク
 - サイト閲覧推奨環境など
 - サイト閲覧推奨環境など
 - サイト稼動状況・障害情報
 - サイト制作環境など

- サイト制作環境などトップ
 - 使用パソコン（マシン・OS）
 - 使用ソフトウェア
 - サイト制作環境
 - サイト制作のご依頼など
 - アクセス解析データ書庫
 - アクセス解析データ書庫
 - リアルタイム解析
 - 法令に基づく表示
- サイトの部分編集に参加する（要ログイン）
- 掲示板
 - 一般掲示板（どなたでも）
 - 個人勉強会掲示板（要ログイン）
 - 旧掲示板（現在は閲覧のみ）
- ご協力者・研究者との活動
 - ご協力者・研究者との活動トップ
 - 私（岩崎純一）を研究・招聘して下さっている皆様へ
 - よくあるご質問と回答
 - 個人交流会・勉強会
 - 個人交流会・勉強会（附属・派生サークル）の沿革
- 附属・派生サークルの本部・支部（ご協力者）への直通メール一覧
 - 私（岩崎純一）以外の皆様が立ち上げて下さった勉強会について
 - 【特設サイト】岩崎式日本語特設サイト（相互協力サイト）
 - 女性専用スペース（シェアハウス型女性寮）との連携
 - 女性専用スペース（シェアハウス型女性寮）（相互協力サイト、一部要ログイン）
 - 部班制（岩崎純一学術研究所属）への改組予定
 - 私の動向の模式図（二〇一三年まで）
 - サイトメニュー一覧
 - HTTP 403 Error（403エラーの場合の表示ページ）
 - HTTP 404 Error（404エラーの場合の表示ページ）
- 岩崎純一総合アーカイブ
- 【特設サイト】岩崎式日本語特設サイト（相互協力サイト）女性専用スペース（シェアハウス型女性寮）との連携、女性スタッフ・入居女性の皆様（女性寮）に移管したコンテンツについての説明

- ・ 【特設サイト】女性専用スペース（女性スタッフの皆様がご自宅やシェアハウス型女性寮にて管理・運営）（相互協力サイト、一部要ログイン）

サブメニュー一覧

- ・ 総合トップページ
- ・ 現在のページのトップに戻る
- ・ 現在のページのメニュー
- ・ 現在のページの本文
- ・ サブメニュー

ブログなどのメニューを開閉

ブログ（パソコン・タブレット・スマートフォン用）

- ・ メインブログ
（人文社会 一）
- ・ 第二ブログ
（人文社会 二）
- ・ 第三ブログ
（自然科学、IT）

- ・ サイト更新情報ブログ
（主な更新情報）

ブログ（旧型モバイル用）

- ・ メインブログ
（人文社会 一）
- ・ 第二ブログ
（人文社会 二）
- ・ 第三ブログ
（自然科学、IT）
- ・ サイト更新情報ブログ
（主な更新情報）

SNSなどのメニューを開閉

SNS・動画サイト

- ・ 私のTwitter 記事
- ・ Facebook 内の私のページ
- ・ mixi 内の私のページ
- ・ YouTube 内の私のページ
- ・ Google+ 内の私のページ

3DCG（コンピュータグラフィックス）

- Sketchfab 内の私のページ

クラウドコンピューティング、オンラインストレージ

- OneDrive 内の私のページ

著作権情報

ページのトップへ戻る

サイト更新情報ブログ RSS

Copyright © 2004- 岩崎純一のウェブサイト All Rights Reserved.

Powered by 岩崎純一 CMS.

2004/01/01 からの延べご訪問者数：

岩崎純一総合アーカイブ

法令に基づく表示

クリエイティブ・コモンズ・ライセンス

岩崎純一 CMS

第三節 サイトの全メニュー一覧（英語版）

二〇一四年十月四日 起筆、公開

二〇一七年十月八日 最終更新

別添資料を見よ。

第四節 サイトの全メニュー一覧（中国語版）

二〇一四年十月四日 起筆、公開

二〇一七年十月八日 最終更新

別添資料を見よ。

第五節 サイトの全メニュー一覧（韓国語版）

二〇一四年十月四日 起筆、公開

二〇一七年十月八日 最終更新

別添資料を見よ。

第四章 二〇一八年始から六月末までのウェブサイト

二〇一八年四月二十二日 起筆、攔筆、公開

第一節 スクリーンショット

『岩崎純一全集』第二卷「序説、総記（二）」

言語を選択

Powered by Google 翻訳

手作業組織版 - 総会トップ

日本語(original)

English

中文

한국어



岩崎純一のウェブサイト

「知のすきま」(Niches of Episteme)

Google

カスタム検索

▼主要メニューを開閉

トップページ（活動カレンダー）

【1-1-2】歴史（言語の著作物）
公開中:19 待:130

【1-1-8】言語（言語の著作物）
公開中:61 待:145

【1-6】図形の著作物
公開中:23 待:220

サイトの見方（岩崎純一総合アーカイブ）

【1-1-3】社会科学（言語の著作物）
公開中:74 待:146 他:438

【1-1-9】文学（言語の著作物）
公開中:47 待:121

【1-7】映画の著作物
公開中:8 待:5

活動紹介、メール、運営など

【1-1-4】自然科学（言語の著作物）
公開中:77 待:139

【1-2】音楽の著作物
公開中:31 待:24

【1-8】写真の著作物
公開中:0 待:422

活動分野別の特設サイト

【1-1-5】技術（言語の著作物）
公開中:82 待:155

【1-3】舞踊の著作物
公開中:0 待:0

【1-9】プログラムの著作物
公開中:8 待:8

【1-1-0】総記（言語の著作物）
公開中:102 待:36

【1-1-6】産業（言語の著作物）
公開中:12 待:102

【1-4】美術の著作物
公開中:4 待:15

【2】私蔵貴重書
公開中:0 待:406

【1-1-1】哲学（言語の著作物）
公開中:112 待:162

【1-1-7】芸術（言語の著作物）
公開中:47 待:137

【1-5】建築の著作物
公開中:0 待:0

▼現在のページの本文を開閉

最新のお知らせ

■岩崎純一のウェブサイトへようこそ。2018年1月1日より、従来の「[活動分野別の特設サイト](#)」方式から「[著作物アーカイブ](#)」方式へと移行いたしました。ただし、特設サイトも残っております。

最新の記事

- 2018年1月1日のサイト更新情報

【資料情報カード】

お問い合わせ、スケジュールなどについて

■[【お問い合わせ】返信メールが未達の方へ](#)

▼岩崎および内部研究会の大まかなスケジュールです。ご訪問者の皆様からのメール（お問い合わせ・ご相談）や面会日のご希望（調整・変更）は、スケジュール通りでなくとも受け付けております。

▼活動紹介、特設サイト、メール、運営などのメニューを開閉

トップページ（活動カレンダー）

自己紹介と活動理念

活動総覧（分野別、年表）

活動分野別の特設サイト

ご連絡・メール

ご協力者・研究者との活動

ご訪問者向けの各種表記

最新の記事

- 2018年1月1日のサイト更新情報

【資料情報カード】

お問い合わせ、スケジュールなどについて

■【お願い】返信メールが未達の方へ

▼ 岩崎および内部研究会の大きなスケジュールです。ご訪問者の皆様からのメール（お問い合わせ・ご相談）や面会日のご希望（調整・変更）は、スケジュール通りでなくとも受け付けております。

レンダー

自己紹介と活動理念

活動総覧（分野別、年表）

活動分野別の特設サイト

ご連絡・メール

ご協力者・研究者との活動

ご訪問者向けの各種表記

サイトの全メニューを表示

岩崎純一総合アーカイブ

ブログ

Google カレンダー 月間活動日程

2018年 4月

日

月

火

水

木

金

土

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

1

2

3

4

5

月曜

月

火

水

木

金

土

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

1

2

3

4

5

月曜

月

火

水

木

金

土

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

1

2

3

4

5

月曜

月

火

水

木

金

土

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

1

2

3

4

5

タイムゾーン 東京

Google カレンダーのフィードに登録

総合トップページ

当ページ紹介

ページメニュー

当ページ本文

活動

メール

『岩崎純一全集』第二巻「序説、総記（二）」



第二節 サイトの全メニュー一覧

二〇一八年六月末までのウェブサイトのメニューは、二〇一七年末までのウェブサイトの全メニューに、次の第五章の変更を加えたものである。

第五章 二〇一八年七月一日以降のウェブサイト

二〇一八年七月二十三日 起筆、公開
二〇二二年八月二十八日 更新

第一節 スクリーンショット

『岩崎純一全集』第二卷「序説、総記（二）」




トップ

【0】総合案内・メール

【1】書庫の製作物

【2】写稿の著作物【全集】

【3】利用製作物

【5】貴重製作物

【6】貴重著作物

【7】提供製作物

【8】提供著作物

【9】他の製作物

【特】特別開・特設書庫



**岩崎純一
学術研究所**
JIAI

▼このページは、以下の私設研究所や構築物の総合トップページです。機能的・思想的な学術活動を展開する岩崎純一および関係者の活動をアーカイブ化しています。多くが無料・オープンアクセスです。

- ◆ 岩崎純一学術研究所 (JIAI)
- ◆ 「岩崎純一学術研究所リポジトリ」 (JIAIR)
- ◆ 「岩崎純一総合アーカイブ」 (JICA)
- ◆ 岩崎純一全集 (JICW) : JICAの一部
- ◆ 「岩崎純一学術書庫」 (JIAL) : JICAの一部

ご訪問ありがとうございます。

※設定を選択

Powered by Google 翻訳

■ [当サイトの簡単な見方](#)

Google 翻訳

■ [サイト内検索の不具合について](#)

▼JIAIの学術体系の分類およびプロジェクトの設計思想は、複雑ながらも極めて理路整然とした構想なのですが、小規模大蔵一校分程度のリポジトリ・資料群を有し、巻頭とスタッフの独自の集約的な関係性ももたれ、ご不便は、いつでもお聞かせ下さい。 [総合案内](#)もご参照下さい。

- [【オンライン貴重書庫にあり追加】](#)
- [オンライン貴重書庫について](#)
- [【オンライン貴重書庫にあり追加】新刊を随筆・雑誌の発行・家訓（改正著作集・年譜）大学・改訂・読書録の引上げなど」に際する対応・方針](#)
- ◆ [最新情報](#)
- ◆ [研究物のアーカイブ・組織へのリンク先](#)
- ◆ [【岩崎純一総合アーカイブ \(JICA\)】入口](#)
- ◆ [活動内容、ご利用内容の概要、コンテンツ概要、ご連絡先、研究物の全覧はこちらへ](#)

最新情報

■ 2021年

◆ 4月～：【[第一報](#)】：岩崎が担当する大学の授業は、2021年度も現地点で前期・後期を通じてオンライン授業となっております。大学からの情報にも注意して下さい。

◆ 1/14：【[第六報](#)】：[都内観音堂観音スポート観音マップ](#)に情報を追加。

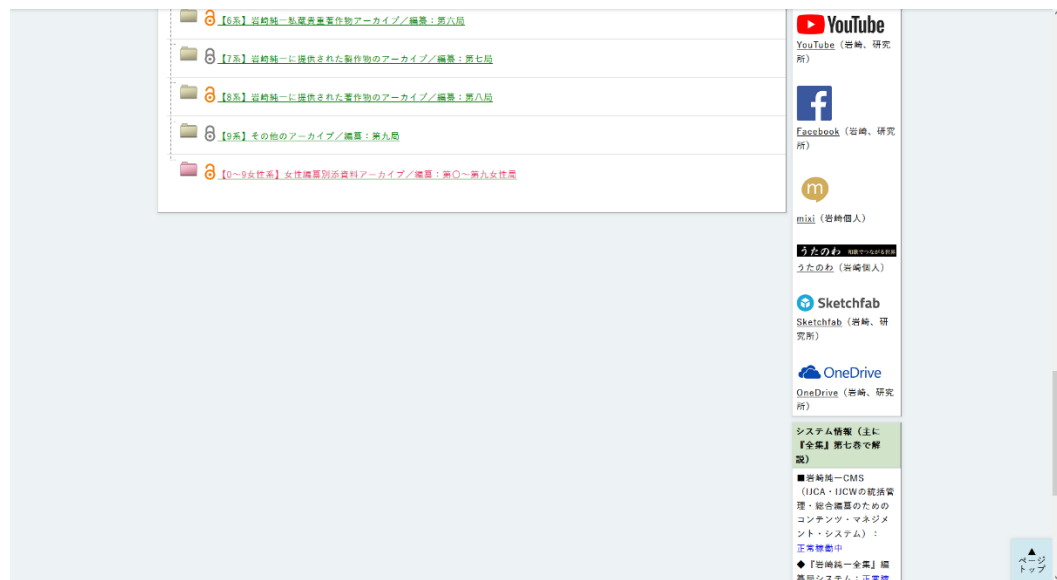
ご寄稿は以下のメールアドレスまでどうぞ。

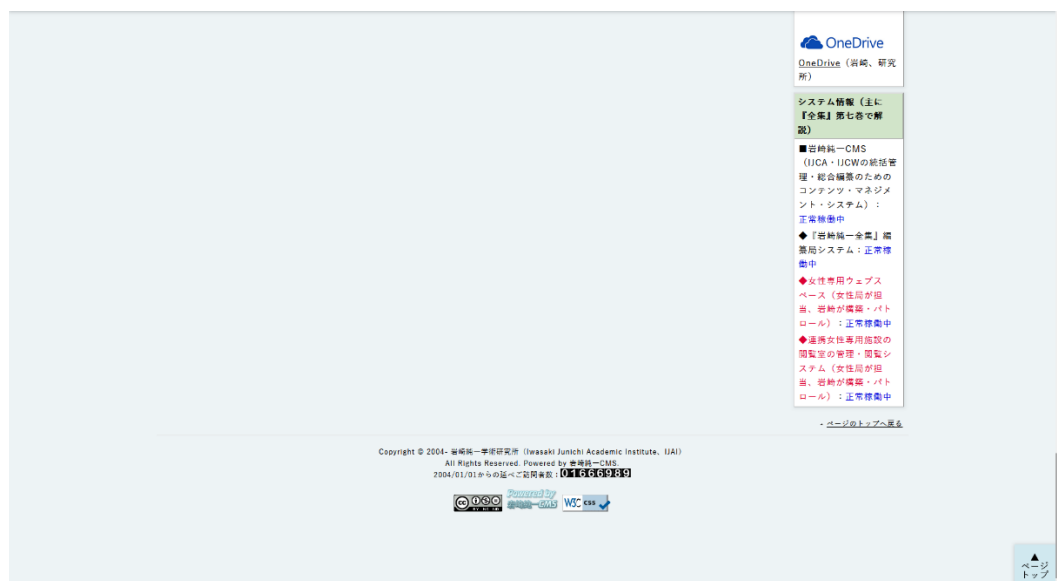


▲ページ
トップ

		ご連絡は以下のメールアドレスまでどうぞ。
最新情報		
■2021年		
◆4月～：【 第六期 】：岩崎が担当する大学の授業は、2021年度も現時点で前期・後期を通じてオンライン授業となっております。大学からの情報にも迅速してまいります。		
◆1/14：【 第六期 】：都内施設登録要入ポット報告マップに情報を追加。		
■2020年		
◆年間：【 第一期 】：岩崎が担当する大学の開校は、前期・後期を通じて全てオンライン授業となりました。		
◆10/3：【 研究案内 】：終端コロナウイルス感染の拡大に伴うオンライン講演などの対応についてを掲載。		
◆9/22：【 第二期七巻目 】：復元したDTMソフトウェア（新型コロナウイルスの脅威でも生活のための情報提供用）を掲載。		
◆9/27：【 第三期五巻目 】：個人レベルで作成できる「コンパクト」で「接続可能な」ネットワークやオンライン授業の機材構成やパソコン改造・自作の様子の一側（新型コロナウイルスの脅威でも生活のための情報提供用）。に掲載。		
◆9/6：【 総合案内 】：最終統一総合アーカイブ（UICA）システム完成表に記載。		
◆8/30：【 第七巻目 】：パレス音楽学・交響詩・音楽劇『夕顔』（SKRILL）上をYouTubeに掲載。		
◆8/30：【 第九巻目 】：マシナミ「既読」（ネオカンダラニア）をYouTubeに掲載。		
◆8/20：【 第四期三巻目 】：日経新聞「東京文芸部」…〈連載〉自然現象の体質と自然現象・児童書家の研究・批判』東京大学大学院工学系研究所電気工学科東大研究室主筆 井戸記博」に掲載。		
◆8/20：【 第三期十二巻目 】：「芸術、文化、言語、文学（一）」（日本大学芸術学部国文学科 特別講座「共感覚と芸術」 音声記録、文字記録）に掲載。		
◆8/20：【 第三期五十二巻目 】：「芸術、文化、言語、文学（二）」（日本大学芸術学部国文学科 特別講座「共感覚と芸術」 音声記録本、文字記録）に掲載。		
 研究所、アーカイブ全般の新着情報は、主に 「岩崎純一全案」第一期 をご覧下さい。 『全集』収録資料品の最終収録年月日（更新、増補、刊行など）、は、資料本体に記載しております。		
研究所のアーカイブ・組織へのリンク一覧		

『岩崎純一全集』第二巻「序説、総記（二）」





第二節 サイトの全メニュー一覧

岩崎式十進分類法 (IJDC) に一致する。

第六章 ブログ

IJDC 体制移行まで、次に掲げるブログをサイト内にて運営していたが、その全てのタイトル・文章・内容を『全集』に移行・収録し、ブログは閉鎖した。

二〇〇四年一月十日 起筆

二〇〇四年四月二十四日 公開

二〇一七年九月二十三日 最終更新

● ブログ (それぞれにパソコン・タブレット・スマートフォン用と旧型モバイル用のレイアウトを用意。内容は同じ。)

- ◆ メインブログ (人文社会 一)
- ◆ 第二ブログ (人文社会 二)
- ◆ 第三ブログ (自然科学、IT)
- ◆ サイト更新情報ブログ (主な更新情報)
- ◆ 伝統和歌の会「余情会」のブログ



- ◆ バーチャル巫女神道（寿羅穂里阿神道） 創作ノート
- ◆ 岩崎式日本語の議論ノート
- ◆ サイト内の過去のブログ記事など
- ◆ 過去のブログ記事
- ◆ メインブログの頻出単語・概念（タグクラウド仕様）
- ◆ 第二ブログの頻出単語・概念（タグクラウド仕様）
- ◆ 第三ブログの頻出単語・概念（タグクラウド仕様）

第七章 二〇二一年九月一日以降のウェブサイト

二〇二一年八月二十八日 起筆、公開
二〇二四年二月二十七日 更新

第一節 スクリーンショット



『岩崎純一全集』第二巻「序説、総記（二）」

◆本サイトでは、ウクライナへの協力に関するページを掲載中。これらの岩崎・IJAIの活動は、岩崎の後の所属組織（大学・財団等）の了解とは無関係の独立した個人的な有志活動です。お問い合わせは岩崎・IJAIまでお願いいたします。

◆IJAIの三角形▲のシンボルマークの元となった岡山県の子子山

岩崎純一 学術研究所 IJAI	岩崎純一 学術研究所 リポジトリ IJART	岩崎純一 総合アーカイブ UCA	岩崎純一全集 UCW	岩崎純一 学術図書館 UAL
岩崎純一 十進分類法 UDC	岩崎純一 学術研究所 東京本部	岩崎純一 学術研究所 東京(武蔵野)支部	岩崎純一 学術研究所 岡山(吉備)支部	IJ ART MUSIC
岩崎純一 芸術団 IJAG	匿名神道言霊系 (吉備匿名秘教神道) (匿名秘教神道言霊教) (匿名教言霊秘教)	岩崎純一 学術研究所 女性局		

Hirakoの部屋

水彩画・色彩漫画 Hirakoの部屋



Twitter Facebook YouTube

◆サブスク音楽（アルバム）リリース情報、配信先一覧 (1) (Audiostock)

◆サブスク音楽（アルバム）リリース情報、配信先一覧 (2) (TuneCore提供LinkCore)

◆サブスク音楽（アルバム）リリース情報、配信先一覧 (2・英語版) (TuneCore提供LinkCore)

YouTube

音楽配信 (「IJ ART MUSIC」の検索結果を表示)

YouTube Music

音楽配信 (「IJ ART MUSIC」の検索結果を表示)

Audiostock SoundCloud うたのわ Sketchfab OneDrive

Copyright © 2004 岩崎純一学術研究所 (Iwasaki Junichi Academic Institute, IJAI)

※ 本サイト内の岩崎純一の著作物の多くは、クリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 改変禁止 4.0 国際 ライセンスの下に提供しております。
Powered by 岩崎純一CMS. (現在は、一部にのみ使用中。)

第二節 サイトの全メニュー一覧

岩崎式十進分類法（JDC）に基づき構成。スクリーンショットを見よ。

第八章 二〇二四年一月二十五日以降のウェブサイト

二〇二四年二月二十七日 起筆、公開

第一節 スクリーンショット

現在のサイトを見よ。

第二節 サイトの全メニュー一覧

岩崎式十進分類法（JDC）に基づき構成。現在のサイトを見よ。

第九章 ソーシャル・ネットワーク・サービス（SNS）等

一部のSNSについては、ブログと異なり、JDC体制移行後も、

岩崎の活動に関する簡単な案内情報等を掲載する広報ツールとして使用している。

二〇〇四年一月十日 起筆

二〇〇四年四月二十四日 公開

二〇一二年十二月二十日 更新

二〇一六年十二月二十八日 更新

二〇一七年九月二十三日 更新

二〇一九年二月九日 最終更新

● SNS・動画サイト

◆ Twitter（「Twitter 過去ログ」としてサイトにも転載。二〇一二年十二月二十日、転載開始。二〇一三年六月二十九日、転載ページを公開。）

◆ Facebook

◆ mixi

◆ YouTube

◆ Google+（サービス終了）

● 文学系

◆ うたのわ

● 3DCG（コンピュータグラフィックス）

◆ Sketchfab

● クラウドコンピューティング、オンラインストレージ



◆ OneDrive

既に当該サービス上からは削除した過去ログの閲覧を希望する者は、個別に岩崎まで問い合わせよ。

また、これらの SNS 以外の電子掲示板 (Bulletin Board System, BBS) への岩崎の投稿内容についても、閲覧を希望する者は、個別に岩崎まで問い合わせよ。岩崎の投稿部分も、便宜的に他の投稿者の投稿内容と合わせて、第五巻の別添資料として収録した。



第二部 閲覧室の運営及び閲覧室での提供

岩崎純一は、第三巻から第七巻に定める通り、岩崎に許可を得た寮母、女性オーナー、女性スタッフの手によって、女子寮、女子学生寮、女性専用シェアハウス、心身障害女性施設、犯罪被害女性施設等の内部に設置されている岩崎の著作物等の閲覧室や閲覧場所の運営、管理に関与しないものとする。

協力者、参加者のうち、岩崎より許可された一部の者は、閲覧室や閲覧場所の運営、管理に直接携わることができる。これらの女性スタッフは、本巻に定める IJCA 及び IJCW の編纂者を兼ねる場合がある一方、閲覧室や閲覧場所に関する問い合わせについては、各

種の犯罪被害の防止の観点から、女性スタッフではなく岩崎が窓口となつて受け付けているなど、岩崎及び IJAI とこれらの閲覧室や閲覧場所とは緊密な協力体制にあるが、閲覧室や閲覧場所自体は IJAI の内部部局ではなく、あくまでも各女性施設の付帯設備である。

岩崎純一は、ウェブサイトのほか、これらの女性専用施設のインターネット、プライベート・ネットワーク、情報管理システム、システム室の機械的構築及び電子的構築を行い、遠隔管理を含む管理を行う一方で、施設全体及び閲覧室の運営には関与しない。

第三部 書籍、学術誌、論文集での提供

岩崎純一は、IJCA 及び IJCW に含まれる自身の著作物の出版、刊行を行う全権を保持する。また、著作権法第二十七条及び第二十八条に規定する権利の全部を含む著作権の全部が岩崎純一に対して譲渡された他の著作物の著作物の出版、刊行の全権を保持する。但し、出版社に出版権等を譲渡した著作物は除く。

詳しくは第三巻から第七巻までを見よ。

協力者、参加者のうち、岩崎より許可された一部の者は、IJCA 及び IJCW の一部の出版、刊行に携わることができる。

第四部 外部リポジトリでの提供

第五巻を見よ。

なお、岩崎純一は、これらの外部リポジトリの運営には関与しない。

第五部 IJCA・IJCW への自作の収録の要望

第三巻を見よ。

第七編 岩崎純一の外部活動（講義、フィールドワーク等）

岩崎純一は、IJCA 及び IJCW の著述、編纂、監修等のほか、大学、研究機関、各種施設における講演、講義、授業、講話会、座談会または屋外活動、フィールドワーク等を行う。

協力者、参加者のうち、岩崎より許可された一部の者は、岩崎純一による大学、研究機関、各種施設における講演、講義、授業、講話会、座談会または屋外活動、フィールドワーク等に直接携わることができる。

具体的な外部活動のうち、協力要請者、研究者、実験実施者、出版者から要請・依頼されるものは第四巻に、利用者、情報提供者、相談者から要請・依頼されるものは第五巻に、それぞれ例示・解説した。

第八編 法令に基づく表示

第三巻から第五巻を見よ。

第九編 個別の活動とそれらの組織化の歴史

第一部 個別の活動に係る各関係者向けの内部規程または注意・留意・表記事項の策定及びその内容

第三巻から第五巻を見よ。

第二部 二〇一一年時点の勉強会の招集の例

二〇一一年五月十五日 起筆

二〇一一年五月二十日 攔筆、公開

別添資料を見よ。

第三部 二〇一二年十月時点の共感覚をめぐる活動体制

二〇一二年十月十三日 起筆

二〇一二年十月二十五日 攔筆、公開

別添資料を見よ。

第四部 二〇一三年四月時点の学術サークルの活動体制

二〇一三年四月二十四日 起筆

二〇一三年四月二十九日 攔筆、公開

別添資料を見よ。

第五部 IJDC 体制直前までの学術サークルの活動体制…

岩崎純一の個人交流会・勉強会（二〇一一年四月二十五日より設置）及び附属・派生サークル（定款上の旧分科会に相当）

二〇一一年四月三日 起筆

二〇一一年四月二十五日 公開

二〇一七年十月十六日 最終更新、攔筆

第一章 開催概要

● 私的な交流会・勉強会を実施しています。お茶会・食事会・講話会・野外活動など、形式は色々です。

（元々、拙著の読者様やこのサイトのご訪問者様にご発案下さり、一度実施してみて大変有意義だったので、引き続き自ら実施して

「岩崎純一の個人交流会・勉強会」
（少人数制、会員制、1対1可、
分野別選抜制、都内・関東中心、
新規会員随時受け入れ可）

います。）

● 定期的な会費はありません。（各回の交通費・食費等の実費のみを各自で負担。）

● 複数人（ご友人どうし、親子など）でのまとめでのお申し込みも可能です。

● 一ヶ月に一回〜四回のペースですが（開催方式（優先事項、順番待ちの仕方など）をご参照）、臨時の会合やネット・メールでの会話も多くおこなっており、私との間のあらゆる相互の情報のやり取りや協力関係において、会員様を優先して対応させていただいております。

● 交流会・勉強会の形式は希望せず、私とのメールのやり取りを継続されたい場合は、公式メール（学術関係、仕事のご依頼など）についてや個人メール（ご質問、私信など）についてのページもご覧下さい。

※ 二〇一六年以降、開催が滞っています。申し訳ございません。通常のご連絡・メールは受け付けております。

第二章 交流・勉強内容

● 本サイトやブログが扱っている以下のような色々な話題を（まじめに、かつ楽しく）一緒に話し合います。

（共感覚、知覚、五感、芸術、哲学、心理学、精神病理学、言語

● 学、社会学、文化人類学、生物学、数学、数理論理学など。）

● 拙著、本サイト・ブログ、皆様や私の共感覚・知覚、私の今までの講演会の内容などについて、ご質問があれば何でも答えます。

● その他、皆で研究協力・実験参加・散策・フィールドワーク・施設訪問などをします。

● ご入会後にご参加いただける附属・派生サークル（定款上の分科会に相当）は、交流会・勉強会のうち、いわば専門的・学究的な面に特化した会です。

第三章 ご参加条件

● 拙著の読者様、このサイトのご訪問者様、大学・学会での私の授業・講演の主催者様・聴講者様・学生様など、どなたでも参加可能です。

● 入会手続きに不安や困難を抱える児童や発達障害・知的障害・言語障害などの方も、ご本人の入会の意志が確認できる限り、保護者が代わって手続きをされることでご本人様が入会できます。必須条件ではありませんが、拙著についてのご質問の場合は、なるべく拙著をお持ちいただけるとページ箇所が分かりやすいので、ありがたいです。（電子書籍可。もちろん、私も持参します。）

第四章 開催場所

◆ 開催地域

● 九割以上は東京都二十三区内で実施しています。

● 時々、東京都郊外・神奈川・千葉・埼玉でも実施しています。

● その他、目的別に上記以外の地域で実施することがあります。

● しばしば、基本的に男性禁制または部外者禁制の、PTSD・強迫性障害・性被害・DV被害などの女性が居住するコンフィデンシャル（情報秘匿）型の女性専用施設（女性寮、女性シェルター、女性ソーシャルアパート）で、岩崎をお招きいただいて実施されております。

◆ 私（岩崎）と一対一（計二名）の場合

● 両者のほぼ地理的な中間点にあるカフェ・喫茶店がメイン。（スターバックスなどの人が多いチェーン店は避けます。）

◆ 三〇十名程度の場合

● 全員のほぼ地理的な中間点にあるカフェ・喫茶店・レストランの個室がメイン。（岩崎や役員が手配。スターバックスやファミリーストランなどの人が多いチェーン店は避けます。）

◆ 十一〜三十名程度の場合（「岩崎純一さんのお話を聴く会」や「続岩崎純一さんに会いたい会」がこの規模。）

● 公共施設・民間施設・大学などの貸教室・貸会議室。（主催者が手配。）

- 会員の大学教員・研究者・学者などの研究室。（主催者が手配。）
 - ◆ 数十人規模で、私（岩崎）だけが特別に登壇するような講話会・講演会形式の場合（「岩崎純一さんのお話を聴く会」や「続 岩崎純一さんに会いたい会」の一部がこの規模。）
 - 公共施設・民間施設・大学などの貸教室・貸会議室や講堂・大教室。（主催者が手配。大学の授業・講演会などとして行う場合、大学への申請もお願いしております。）
 - ◆ 二〇十名程度で共感覚の研究・実験参加などを行う場合（日本共感覚研究会の活動など。）
 - 研究・実験が行われている当該大学・研究機関。（現地集合の場合も多いです。）
 - ◆ 二〇十名程度で野外活動などを行う場合（超音波知覚者コミュニティ東京の散策・フィールドワークや、自然・庭園・神社仏閣めぐり、動植物研究など。）
 - 集合場所と解散場所、途中の休憩・食事場所（カフェ・喫茶店・レストランなど）などを計画して実施。
 - ◆ 二〇十名程度で特殊な環境で行う場合一（重度の発達・知的・身体障害者、精神疾患患者、犯罪被害者、外出恐怖症者などが参加される場合。岩崎式日本語研究会など。）
 - 該当の方々がいらっしゃる施設で実施。（障害者施設・DV シェルター・被虐待者施設・性被害者施設など。）
 - ◆ 二〇十名程度で特殊な環境で行う場合二『新純星余情和歌集』全解釈プロジェクトと伝統和歌の会「余情会」。
 - 会員の巫女の自宅や所属・勤務している神社。
- 第五章 会員制度の導入（二〇一五年七月末から）
- ◆ 二〇一五年七月末より、会員制度を導入し、これまでの規約を定款・細則・規程として拡充しました。
 - ◆ これらは、主に次の理由から整備しているもので、普通はお氣楽に会員規程だけお読みいただいてご入会下されば十分です。
 - 附属サークル（定款上の分科会に相当）の一つである日本共感覚研究会の学会化や一般社団法人化、公益社団法人化の準備計画のため。
 - 詳しい経緯については、日本共感覚研究会の以下のファイルをご覧ください。
 - ◎ 日本共感覚研究会の解散および岩崎純一現会長の個人交流会・勉強会への本会の再吸収の要望について
 - ◎ 岩崎純一現会長の個人交流会・勉強会の分科会としての本会の継続について

● 会員どうしや会員と共感覚詐欺セラピストらがトラブルを起こしたり、共感覚詐欺セラピストらが入会しようとしたり私（岩崎）と関わろうとした場合などに、当該セラピストらを正當に除名・追放するための明文化された規定を設け、法的責任の所在を明確化するため。

● ご自身がお持ちの共感覚や発達障害・学習障害が、親・兄弟・職場の上司や同僚・友人・パートナーなどから侮蔑されたり虐待・いじめ・パワハラの原因にされたりしている会員や、障害者施設・DVシェルター・被虐待者施設・性被害者施設などからご参加されている会員を、加害者から保護し、本会への加害者の接近や入会を阻止するため。

※ 会員制度および規約の整備により、会員の皆様と私（岩崎）や本会との関係は、一定以上の契約関係になります。ごく普通に良識の範囲内でご参加いただく限り、特に大きな変化はないと思っています。結構です。

◆ すでに交流会・勉強会メンバーだった方々は、手続き不要でそのまま会員となりますが、不都合がございましたらご連絡下さい。

第六章 規約（定款・細則・規程等）

二〇一八年四月二十一日 最終更新

本章の各規約は、JDOC体制でも引き継ぎ、改定している。個人交流会・勉強会の規約は本巻を、日本共感覚研究会の規約は社会科学の巻、法令に基づく表示は第三・四・五巻を見よ。

● 個人交流会・勉強会の各規約

- 定款（別添資料を見よ。）
- 役員規程（別添資料を見よ。）
- 会員規程（別添資料を見よ。当時、一般のご入会希望者は、これのみの確認で十分であった。）
- 分科会

- ◇ 日本共感覚研究会の各規約
- ◇ 定款
- ◇ 役員規程
- ◇ 会員規程
- ◇ 日本共感覚学会の設立及び、本会又は同学会の法人化に関する細則
- ◇ 共感覚の検証実験、聞き取り調査等への役員、会員の参加協力等に伴う報酬、謝礼等に関する規程
- ◇ 四（おとり）調査及び不慮の事態に関する規程
- ◇ 「共感覚」及び「共感覚者」の学術的定義の標準化の提言及び保護の宣言
- ◇ 役員・会員の活動の模式図

● 法令に基づく表示（個人情報保護に関する法律など）

第七章 役員名簿・会員情報（全会員数・アクティブ会員数、構成）

会長兼幹事兼業務執行理事（民法上の業務執行組合員）

岩崎純一（特例民法法人・一般財団法人事務局長、学術団体監事）

※ この会とこのサイトの総括運営・管理者、幹事、会員名簿管理者、業務執行者本人。

※ ご入会のお申し込みメール（メールフォームを含む）は、私だけに届きます。他の役員・会員が見ることはありません。

業務執行理事（民法上の業務執行組合員）

山本幸子（公益社団法人職員、学術団体監事）

※ 交流会・勉強会の補佐。日本共感覚研究会副会長。

佐々美世子（自営業）

※ 交流会・勉強会の補佐。「岩崎純一さんのお話を聴く会」代表・幹事。

● 今のところ、まだ和気藹々とした個人サークルだと言えますし、

役員以外の会員の皆様方にはあまり影響のないことですが、万が一、交流会・勉強会の規模が大きくなって民法の範囲を越えたり、特に学術的専門性の高い附属サークル（日本共感覚研究会など）の社会貢献度が高まったりして、定款に従い理事会で一般社団法人化が議決されるようなことがあれば、上記の役員をそのまま法人法上の役員に昇格させ、当該組織に移行できるよう、体制を整えています。

会員情報（二〇〇五年九月六日現在）

◆ 全会員数（休眠会員を含む）…八十二名

◆ うちアクティブ会員数（休眠会員でない会員）…約三十二名

◆ 構成…

◆ 十代～七十代、男女様々

● 社会人（正規・非正規雇用問わず）、無職、主婦、大学生、高校生、中学生（児童については、保護者が代理でご入会手続き済み）

第八章 全会員を一斉に集めない理由（私のポリシーやスタイルと、少人数制・分野別選抜制との兼ね合い）

◆ 便宜的に「個人交流会・勉強会」として実施しておりますが、

以下の理由により、会長である私（岩崎）が主催し幹事をする限り、大きな教室・会議室等を借りて全会員を一斉に集める形式は採っていません。

（私以外の会員が主催して下さっている「岩崎純一さんのお話を聴く会」や「続 岩崎純一さんに会いたい会」は例外。）

【理由】

- 少人数または1対1のほうが、現実として、中身の濃い話が集中してしっかりとできているため。

私（岩崎）自身がこの形式が好きであるため。

元より学術が主目的の集会であり、和気藹々とはしているが、大人数で騒ぐようなオフ会を目的としていないため。

- 本会の趣旨・性質上、大人数が苦手な（少人数だとお話がしやすい）統合失調症、気分障害、社交不安障害、各種恐怖症、強迫性障害、PTSD、発達障害、学習障害などの会員がいらっしゃるため。

- 皆様のご職業、学校、休日の日程、お住まいの地域、世代、性別、ご興味のある内容などがバラバラで、ご予約やタイミングが合わない場合があるため。

※ これは仕方がないことですので、私のほうで調整しています。

- 主催者である私と本サイトが扱っている学術分野があまりに

膨大すぎることもあり、会員の皆様ごとに分野別のミニサークルが派生・細分化と再集合を繰り返しており、肝心の母体で、全ての分野を扱う「個人交流会・勉強会」の人数が一定しないため。

※ ただし、私が主催または参加している附属・派生サークル（「個人交流会・勉強会」内に設置）は、安定した運営を続けております。

私（岩崎）は、社会的立場としては、あくまでも他に職業を持つている一般人にすぎず（正規の大学教員・学者・研究者などではなく）、今すぐに個人で研究活動のための大きな助成・支援を受けたら、会員の皆様に自由に提供できる自分の研究室・教室・不動産などを持つたりする目処がなく、本会を拡大できないため。

（これまでも、大学・研究機関・政府機関・NPOなどの団体に呼ばれて授業・講話・助言などはおこなっていますが、これらのいかなる団体とも特定の利害・従属関係を持っておらず、ある意味では、それが私の癖、ポリシーやスタイルでもあり、日本共感覚研究会でさえ他団体との馴れ合いが嫌で私費で運営・活動しているほどですので、しばらくはこのスタイルが続くであろうと考えられます。）

※ ただし、将来的に交流会・勉強会用のスペースの設置や間借りを計画しております。

第九章 最初から私（岩崎）と一対一での面会・対談をご希望される場合

◆ 開催方式に書いた理由以外に、最初から私（岩崎）と1対1での面会・対談も可能です。ご希望の場合は、随時メールなどでご連絡下さって結構です。

個人メール（ご質問、私信など）についてのページにも説明を書いていきますので、ご覧下さい。

（一対一での面会・対談を「個人交流会・勉強会」の回数（第●回）にカウントするかどうかは、臨機応変に対応しています。）

第十章 開催方式（優先事項、順番待ちの仕方など）

◆ 基本的に、少人数制、会長・役員による参加者の分野別選抜制を優先しています。

稀に、他の会員の心身不良やドタキャン、交通麻痺などで、私（岩崎）と一対一での面会・対談になってしまうこともあります。ご了承いただければ幸いです。

（最初から一対一をご希望される場合は、以下へどうぞ。↓↓最初から私（岩崎）と一対一での面会・対談をご希望される場合）
以下に、ある数回を抜き出して例を示しますので、ご参照いただければと思います。

★ 【前提】会員1（岩崎純一）、会員2、会員3、…
会員n（nは全会員の現在数）とする。

● 第a回 交流会・勉強会（特定の学術分野よりも交流がメイン。ご入会順に集める。）

参加者… 岩崎、会員11、会員12、会員13、会員14

←←←

● 第a+1回 交流会・勉強会（特定の学術分野よりも交流がメインだが、大人数が苦手な発達障害者（会員15）が参加。ご入会順に少人数を集める。）

参加者… 岩崎、会員15、会員16

←←←

● 第a+2回 交流会・勉強会（新規会員の歓迎会を兼ねる。ご興味のある分野が新規会員と最も近い会員を数人集める。）

参加者… 岩崎、会員7、会員31、会員n（新規）

←←←

● 第a+3回 交流会・勉強会（特定の学術分野がメイン。附属・派生サークル（定款上の分科会に相当）に挙げてあるもののみを集める。ご入会順に、ご興味のある会員だけを飛び飛びに集める。）

参加者… 岩崎、会員12、会員23、会員36

←
←

- 一対一での面会・対談（私（岩崎）と一対一での面会・対談をご希望される場合からのお申し込み。）

参加者… 岩崎、会員n+1（新規）

←
←

- 第a+4回 交流会・勉強会（特定の学術分野よりも交流がメイン。第a+1回の続きからご入会順に集める。）

参加者… 岩崎、会員17、会員18、会員19、会員20

←
←

- 理事会（全会員から選ばれた役員の会議。）

参加者… 岩崎、会員2、会員7、会員27

←
←

- 第a+5回 交流会・勉強会（特定の学術分野についての臨時・緊急の会。附属・派生サークル（定款上の分科会に相当）に

挙げてあるもののいずれか。ご興味のある会員だけを飛び飛びに集める。）

参加者… 岩崎、会員5、会員34

←
←

- 第a+6回 交流会・勉強会（特定の学術分野よりも交流がメイン。ご入会順に集める。ただし、会員23は、第a+3回の特定の学術分野にしか興味がなく、多分野での交流がメインの会には不参加。）

参加者… 岩崎、会員21、会員22、会員24、会員25

←
←

以下、同様に続く。

第十一章 ご参加方法（入会申込と入会許可書）

- まずは、規約（定款・細則・規程）の個人交流会・勉強会の会員規程をお読み下さい。

←
←

- 会員規程にご同意いただけましたら、以下の内容をメールにご記入の上、勉強会への参加希望の旨をお知らせ下さい。（細かな形式は自由。）

- ※ お申し込みメール（メールアドレスを含む）は、私（岩崎）だけに届きます。他の役員・会員が見ることはありません。
- ※ 以下の便利なメールアドレスを利用してお申し込みいただくことも可能です。
- ※ メールが使えない方は、書面でのやり取りを検討いたしますので、最初に別の方のメールなどでご連絡いただければ幸いです。

◆ メールアドレス・・・office@iwasakijunichi.net

◆ メールフォームのご利用も可（「個人交流会・勉強会」お申し込み用のチェック欄あり。）

◆ mixiやTwitterのメッセージでお送りいただいても結構です。

【メールにお書き下さい。】

■ ご氏名またはニックネーム ※必須

- のちほど結局ご本名をお教えいただくことになりますが、最初はニックネームでも結構です。

■ 生年月日 ※任意

- 少なくとも生年はご入力いただけると幸いです。

■ 性別 ※任意

- いずれ分かることになりますが、お申し込み時点では任意です。

■ ご職業・お肩書き ※必須

- 「学生」・「専業主婦」・「無職」などの入力もちろん可能です。

■ メールアドレス ※必須

■ ご住所 ※任意

- 実施場所を決めさせていただく際に用いますので、少なくとも都道府県名はご入力いただけると幸いです。

- 私（岩崎純一）の住所（兼個人交流会・勉強会事務局）の情報の開示を先に請求されたい場合、都道府県名以外は未記入のままにして下さい。

■ 電話番号（携帯電話可） ※任意

- 私（岩崎純一）の電話番号の開示を先に請求されたい場合、未記入のままにして下さい。

■ 開設しているウェブサイト・ブログなどのアドレス ※任意

- ご入力いただければ、ぜひ拝見させていただきます。

●ご希望により、私のサイトからリンクさせていただくことが可能です。

■そのほか、拙著や当サイトについて、ご興味のある話題やご質問をお書き下さい。

←←←

■簡単な審査後、入会許可書をメール添付または郵送にてお送りいたします。

※ ご記入の内容は、当交流会・勉強会以外の目的で使用することはございません。法令に基づく表示（個人情報保護に関する法律など）もご参照下さい。

● 入会許可書の例（閲覧希望者は個別に岩崎まで問い合わせよ。）

第十二章 会員名簿の閲覧請求について

会員名簿は、会長の私（岩崎）のみが管理しており、他の役員・会員は基本的には見ることができません。

ただし、交流会・勉強会で気の合った会員がいて、ご連絡先を聞くのをお忘れになった場合などは、私にご連絡いただければ、当該

会員の許可が得られた場合に限り、当該会員の情報のみをお教えいたします。

第十三章 活動資金のご寄付・ご支援を希望される方へ

本会は、社交不安障害・恐怖症・PTSD や発達障害・学習障害などを抱え職に就けていない方々などにも会員の門戸をひらくため、定款や会員規程に基づき、会費制度を設けておりません。

会員規程第五条第二項の通り、「会長又は役員を除く一般の会員は、各回の交流会・勉強会において個人として自身の交通費・食費等の実費のみを負担し、交流会・勉強会の管理・運営（定款等の規約、役員・会員名簿、理事会・総会、ウェブサイト等の管理・運営等）にかかる費用は会長又は役員が負担する」こととしております。

現在のところ、喫緊にカンパなどのご寄付・ご支援が必要な状況にはございませんが、本会の活動にご関心があり、ご寄付・ご支援を希望される場合には、ご一報下さいますようよろしくお願い申し上げます。

次のページもご参照下さい。

● 法令に基づく表示

なお、拙著（電子書籍を含む）を直接お手にとっていただくことなども、ありがたいご支援の一部となっており、そのご支援分は現

在のところ、母体としての本会に加え、特に共益的で社会貢献度が高いと考えられる本会附属の日本共感覚研究会の研究・調査活動に回しております。

次のページもご参照下さい。

● 活動資金の拠出の現状と間接的なご支援のお願い（日本共感覚研究会サイト内。岩崎純一会長より）

● 著書の紹介ページへ

『音に色が見える世界 「共感覚」とは何か』

『私には女性の排卵が見える 共感覚者の不思議な世界』

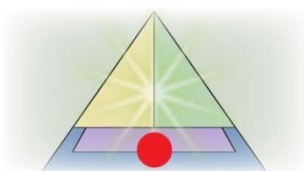
第十四章 附属・派生サークル一覧（定款上の分科部局に相当）

◆ これまでに「岩崎純一のウェブサイト」を通じて誕生したサークル（メンバーを兼ねるサークル）は以下の通りです。（代表者の敬称略。）

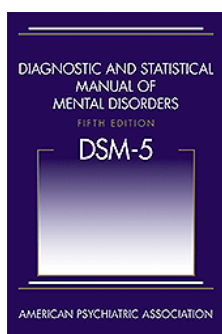
◆ 個人交流会・勉強会が、これらのサークルの母体として二〇〇五年七月末より会員制度を導入したため、個人交流会・勉強会にご入会後、どれにでも簡単な手続きのみでご入会できます。

附属・派生サークルの本部・支部（ご協力者）への直通メール一覧（全てが、岩崎またはご協力者が立ち上げた学術サークル・グループです。）

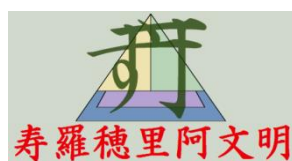
* お問い合わせはメールにてお願い申し上げます。
* 大学に申請し、大学の講義・ゼミ・特別講座・講演・講話会などとして（担当教員を主催者・司会者などとして）開催された活動・事業については、その後に主催大学（担当教員）の手を離れたものしか掲載しておりません。そのほかの講義・ゼミ・特別講座・講演・講話会については、岩崎が講義・ゼミ・特別講座・講演・講話会・実験協力を行った大学などへのリンクのそれぞれの大学にお問い合わせ下さい。



岩崎人間学研究会（主催…岩崎純一）
…精神疾患研究、岩崎式言語体系、創作文明、神道・仏教、和歌など、私（岩崎）が中心となつて始めた当サイトの多くのコンテンツへのご協力や、未来年表の作成など。「日本的共感覚人間学研究会」から移行。



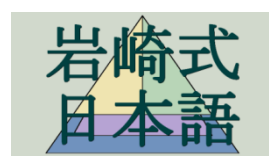
精神病理学・精神疾患研究（主催…岩崎純一）
…ICD および DSM に規定されている精神・発達・行動関連障害を診断され



寿羅穂里阿文明（岩崎式文明論）（代表…武田あさる）
 …文明創作の試み。文明内で岩崎式日本語が使用され



岩崎式日本語ペディア（代表…武田あさる）
 …岩崎式日本語の百科事典。



岩崎式日本語研究会（代表…岩崎純一）
 …私の考案した人工言語（コンラング・Conlang）である岩崎式日本語という言語についての議論。解離性障害者などと会話できる文法の構築の試み。

た方々に出会う、岩崎個人のライフワーク。基本的に、私宛てに面会希望のご連絡を下された方々と面識を持っています。施設訪問やフィールドワークも行っています。性被害・DV被害女性の専用施設については、男性の出入りを制限・禁止している場合が多いため、お呼びいただいた区画のみを訪問・見学させていただいております。



伝統和歌の会「余情会」（代表…長満たき）（開闔（かいこう）…岩崎純一）
 …伝統和歌の詠進。歌会・歌合。黒髪であることが参加条



『新純星余情和歌集』全解釈プロジェクト（主催…岩崎純一）
 …私（岩崎）の詠んだ和歌の現代語訳・解説プロジェクト。



神道・仏教研究（主催…岩崎純一）（共催…巫女の方々）
 …私（岩崎純一）自身の家系は、軍人（近衛兵・陸軍将校）・教育者・曹洞宗という文人・武人（家系ですが、個人的には、神道と仏教を網羅的に在野で研究しています）

ている設定になっています。

日本共感覚研究会

岩崎純一の 共感覚記憶データベース

大日本帝国陸軍
岡山歩兵第十連隊・
岡山近衛兵将校子孫会

件。茶髪・ピアス参加禁止。和服は任意。私岩崎のネット歌集の試みである『新純星余情和歌集』の全訳プロジェクトにもご協力下さっています。私岩崎の役職は開闢（かいこう）。

大日本帝国陸軍岡山歩兵第十連隊・岡山近衛兵将校子孫会（代表…岩崎純一）

…岡山歩兵第十連隊と岡山県出身の近衛師団・連隊の将校の子孫を中心とする戦史・郷土研究団体です。大本営や南方軍、方面軍から何を命令され、部下の兵士たちに何を命令し、戦後に何に苦しんだかを、無為の境地で研究します。

岩崎純一の共感覚データベース（文字、数字、円周率、音階、将棋、地図、自動車、鉄道、超数学理論、元素周期表の色彩記憶など）（代表…岩崎純一）

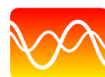
…岩崎純一自身の共感覚の記録。

日本共感覚研究会（旧 日本共感覚関連動向調査会）（会長…岩崎純一）

…「共感覚」を巡る日本社会の実態の調査・追跡活動。

岩崎純一さんのお話を聴く会

Powered by
岩崎純一CMS



超音波知覚者コミュニティ東京
COPULASA-Tokyo

超音波装置探索フィールドワーク、超音波知覚の検証、聴覚・共感覚の研究、コウモリなど動物の超音波研究

超音波知覚者コミュニティ東京（代表…岩崎純一）

…超音波知覚者による都内の超音波発生スポットの報告と、コウモリ研究者のご同行などによるスポットの実地調査。

岩崎純一CMS（代表…岩崎純一）

…「岩崎純一のウェブサイト」を稼働させているコンテンツマネジメントシステムの開発の継続。ほぼ私一人で行っていますが、他のメンバーの協力を得ることもあります。

岩崎純一さんのお話を聴く会（主催…佐々美世子、上

野紗奈、高島ひとみ）（講話、運営の補佐…岩崎純一）

…初回到学生向けの大きな講話会（リンク先）をひらいて下さり、その後は、それを聴講して下さった一部の学生・主婦・OLが残って、私を呼んで下さっています。

一部の研究会・講義テキストを掲載しています。

続 岩崎純一さんに会いたい会（主催…渡辺未来 ← 上野紗奈、曾我部丹佳、小山由香）（講話、運営の補佐…岩崎

岩崎純一のウェブサイト
女性専用スペース
Women Only

長谷川彩）（講話、運営の補佐…岩崎純一）
…私にご相談を受けて交流してきた、精神・身体症状や共感覚、その他の特殊知覚・症状を持つ女性の皆様に管理・運営していただいているスペースです。これらの女性の皆様が入居者の多くを占める、シェアハウス型の女性寮も紹介されています。私も寮を支援しています。

女性に特有の症状・知覚については、寮生に解説を

岩崎純一さんとの
合同勉強会

岩崎純一さんとの合同勉強会（主催…伊田小春、佐々木愛華）（講話、運営の補佐…岩崎純一）
…複数の大学の学生たちが私を呼んで下さっています。一部の研究会・講義テキストを掲載しています。

岩崎純一のウェブサイト 女性専用スペース（代表…

続 岩崎純一さんに
会いたい会

純一

…初回到学生向けの大きな講話会（リンク先）をひらいて下さり、その後は、それを聴講して下さった一部の学生が残り、数名の主婦・OLが加わり、「続」として私を呼んで下さっています。

一部の研究会・講義テキストを掲載しています。

お願いしています。

●「シェアハウス型女性寮との連携、および入居女性による特殊症状・知覚の解説の分担について」をご参照下さい。

糸姫会（いとひめかい）（代表…藤山セン）

…かるた・羽根つき・貝合・花いちもんめなど、日本古来の女性の遊びをおこなう。（私は、遊びで使われる和歌を詠んで提供。）

仮想御殿「武蔵幻想邸」（主催…岩崎純一・藤原家々）

…「岩崎純一のウェブサイト」へのご訪問者有志が居住する架空御殿。所属サークルというよりは、遊びです。

共感覚者和歌の会…解散しました。（代表…戸井留子）

…余情会の下部サークル。

花薄会（はなすすきかい）…解散しました。（主催…青柳香織）

…閃輝暗点者・離人症者・強迫性障害者などの会。頭痛や不定愁訴に効果のある食べ物などの議論。

空木会（うつぎかい）…解散しました。（幹事…小野薫枝）

…日本人の共感覚など、感覚・知覚の研究会。音を聞いて色を塗るなどして遊ぶ。

岩崎純一研究会：「岩崎純一さんとの合同勉強会」、「岩崎純一さんのお話を聴く会」、「続 岩崎純一さんに会いたい会」の女性三サークルの総称。この研究会は、現在、ほぼ岩崎純一学術研究所の女性部局となっている。

◆ 時々間違えられますが、以下の共感覚自然感知研究会（解散済み。主催：水橋裕子様）や日本共感覚協会（代表：松田英子様）は、私の交流会・勉強会からの派生サークルや本会の関係サークルではありません。

（ただし、私自身も含めて何人かの交流会・勉強会会員がメンバーを兼ねています。）

共感覚自然感知研究会：解散しました。（主催：水橋裕子）

・共感覚による自然感知（地震・津波など）を皆で記録、議論。

・mixiページ

・mixiコミュニティ

日本共感覚協会：解散しました。（代表：松田英子）

・日本人の共感覚の遺伝学的側面の調査と議論。被験者を募集中。

このほか、別添の岩崎純一関連学術グループ・サークルの変遷表もご参照下さい。

● 個人勉強会掲示板 (BBS)

専用パスワードでお入り下さい。（最近ほとんど不使用です。）

● 以下の【参考】に留意事項として掲げる内容につきましては、当交流会・勉強会にお申し込み下さった方々にも適用させていただきますので、ご了承下さいますようお願い申し上げます。）

【参考】日本のスピリチュアル・ブーム、脳ブーム、超常現象・オカルト科学ブーム、カルト・新宗教団体等の現状に鑑みた、共感覚等の扱いに関する留意事項

第六部 岩崎以外の皆様が立ち上げて下さった勉強会の活動体制（女性グループ及び女性専用施設）

二〇一一年四月三日 起筆

二〇一一年四月二十五日 公開

二〇一七年九月七日 最終更新、攔筆

二〇一八年八月十五日 更新再開、現状に合わせて概要を更新

第一章 概要

● 「岩崎純一さんのお話を聴く会」、「岩崎純一さんに会いたい会」（後身は「続 岩崎純一さんに会いたい会」、「岩崎純一さんとの

合同勉強会」は、私自身ではなく、他の皆様が立ち上げて下さったサークルや特別講座で、自然に私の個人交流会・勉強会に編入されたものです。個人交流会・勉強会の部班制移行にあたっては、合同本部として「岩崎純一研究会」が立ち上げられ、役員会（民法上の業務執行組員）はこれらのサークルのメンバーで構成されていきました。

「お話を聴く会」、「会いたい会」、「合同勉強会」そのものは、女性専用スペースにて紹介されている、DV被害・犯罪被害・精神障害・身体症状の女性向けの専用寮の共用スペース（談話室など）に岩崎を招聘して下さる形式で行われておりますが、セキュリティの観点から、現在は多くが非公開となっております。

そのほかのサークルの活動内容は、岩崎以外が主宰のものも含めて、『全集』の様々な該当ページで紹介しております。サークルの一覧は、本巻にあります。

女性三サークルのご参加者向けのお知らせは、活動場所（大学、サークル会場、女性寮など）のポスターやチラシもご覧下さい。

二〇一六年以降、これら三サークルは、女性施設と一体化して閉鎖的な性質を帯びており、既存の女性スタッフまたは岩崎所長の直接的な紹介による参加を除いては、新規参加は大変難しくなっております。三サークルの女性メンバーは、同様の活動を希望される方に対し、岩崎に関する勉強会等を別途立ち上げることを推奨しています。一方、岩崎からは三サークルの門戸開放を要請し、議論を続けています。

第二章 活動場所

コンフィデンシャル（情報秘匿）型女性専用施設…武蔵野本部メンバーの巫女の皆様が所属する神社

喫茶店、カフェ

代表部・部班代表者の私宅

大学での講義・ゼミ・特別講座などとして実施した場合、その大学

外でのフィールドワークなど

各サークル（各部班）の設置場所は、附属・派生サークルの本部・支部（ご協力者）への直通メール一覧をご覧ください。

（二〇一八年八月十五日追記…現在、直通メールは廃止。女性局へのご連絡は、JIAIのメールアドレスで受け付けております。）

第三章 これまでの活動記録

活動総覧にある各種の活動にご協力を頂いております。これまでの講義・講演・講話会の一部を、『全集』の第一巻の活動総覧や第十巻以降の各巻に掲載しておりますので、ご参照下さい。

第七部 JDC体制直前までの部班制移行計画

(女性グループ側及び女性専用施設側からの提案に譲歩した部班制への改組計画)

第二章 部班制の編制

二〇一一年四月三日 起筆
二〇一一年四月二十五日 公開
二〇一四年六月十四日 起筆
二〇一六年二月二十一日 公開
二〇一七年八月十二日 更新
二〇一七年九月二十八日 最終更新、攔筆
二〇一八年八月十五日 更新再開、現状に合わせて概要を更新

第一章 概要

● 現在のIJAI及びその女性局が編制されるまで、先の女性三サークルから、別個に活動してきた附属・派生サークルの部班制への改組が提案されてきました。これが、現在のIJAI及び女性局へとつながっています。過去の改組案は、第二巻本編に掲載されています。現在、全てがIJAI所属となっています。

● 女性三サークルの合同本部であった「岩崎純一研究会」の役員会(民法上の業務執行組合員)は、ほぼそのまま女性局へと移行し、引き続き「岩崎純一さんのお話を聴く会」(後身は「続岩崎純一さんに会いたい会」)、「岩崎純一さんとの合同勉強会」のおもなメンバーで構成されています。

【凡例】

- 部班制移行後の部
- 現在のサークル名
- ▼ 代表者
- ▼ 副代表者
- ▼ メールアドレス
- ▼ 事務所・研究室の本部の設置場所
- ▼ 事務所・研究室の支部の設置場所
- ▼ サークル種別
- ▼ 関係者数
- ▼ 部班制改組後の編制
- 現在のご連絡先メールアドレスと宛名
- 総代表岩崎純一及び岩崎純一のウェブサイト
- ▼ 総代表…岩崎純一
- ▼ メールアドレス…
office@iwasakijunichi.net` iwasaki-j@iwasakijunichi.net
- ▼ 本部…岩崎私宅

▼ すべて（のサークル）はここから始まりました。岩崎の本来本のサイトとブログ群です。

▼ 一名（岩崎純一）

▼ そのまま継続

■ 代表部

● 代表班（岩崎純一の個人交流会・勉強会）

・・・・以前からある以下の岩崎関連サークルのおもな開催者で構成予定です。本会の総務を担います。

▼ 代表・佐々美世子、上野紗奈、伊田小春、佐々木愛華

▼ メールアドレス・三つの女性サークルのアドレス

▼ 本部・岩崎私宅

▼ 本ページのどのサークルのメンバーでも参加できる場として岩崎が設置。実務作業を下方に記載したコンフィデンシャル（情報秘匿）型特殊女性寮のメンバーが担当予定。

▼ 約四十名

▼ 各部班に再編

● 岩崎純一のウェブサイト情報交換班

・・・・岩崎本人（のサイト）との情報交換の場です。岩崎を研究している別々の大学の研究者や学生との仲介も行います。

● 岩崎純一さんのお話を聴く会

・・・・岩崎についての研究者・学生サークル。いずれ各部班に振り分ける予定です。（母体・東京大学学生、大妻女子大学学生、共立女子大学学生、主婦、社会人女性）

▼ 主催・佐々美世子、上野紗奈、高島ひとみ

▼ メールアドレス・ohanashi@iwasakijunichi.net

▼ 本部・コンフィデンシャル（情報秘匿）型特殊女性寮 談話室

▼ 「岩崎純一のウェブサイト」オフ会（交流会・勉強会） ↓ 学術サークルに移行

▼ 約十名

▼ 代表部、図書部、通信システム部、コンフィデンシャル女性部

● 続 岩崎純一さんに会いたい会

（「岩崎純一さんに会いたい会」（主催・渡辺未来）参加者が継承）

・・・・岩崎についての研究者・学生サークル。いずれ各部班に振り分ける予定です。（母体・東京藝術大学学生、主婦、社会人女性）

▼ 主催・上野紗奈、曾我部丹佳、小山由香

▼ メールアドレス・aitai@iwasakijunichi.net

▼ 本部・コンフィデンシャル（情報秘匿）型特殊女性寮 談話室
大学特別講座 ↓ 学術サークルに移行

（学術サークル化以前は、「岩崎純一さんに会いたい会」として東京藝術大学で開催。）

▼ 約十名

▼ 代表部、図書部、通信システム部、コンフィデンシャル女性部

● 岩崎純一さんとの合同勉強会

・・・・岩崎についての研究者・学生サークル。いずれ各部班に振り分ける予定です。（母体：大妻女子大学学生、駒沢女子大学学生、主婦、社会人女性）

▼ 主催：伊田小春、佐々木愛華

▼ メールアドレス：godot@iwasakijunichi.net

▼ 本部：コンフィデンシャル（情報秘匿）型特殊女性寮 談話室

▼ 大学特別講座 ↓ 学術サークルに移行

（学術サークル化以前は、昭和女子大学・大妻女子大学などで開催。）

▼ 約十五名

▼ 代表部、図書部、通信システム部、コンフィデンシャル女性部

■ 交流会・勉強会支援部

・・・・岩崎が立ち上げた「岩崎純一の個人交流会・勉強会」を手伝いながら、これを母体として、これまでの全サークルを掌握する（できれば、一つにまとめる）総合研究所を作る準備をしています。

■ 図書部

・・・・岩崎が東大中退期から二十代にかけて収集した骨董的な和歌や言語学の古書、精神疾患者や発達障害者や性被害・DV被害女性たちとの大量の往復ノート、サイト・ブログ・未発表原稿の全文章な

どを整理して、閲覧室を設ける計画です。

■ 通信システム部（岩崎純一 CMS）

▼ 代表：岩崎純一

▼ 副代表：深田綾乃、吉川りせ

▼ メールアドレス：cms@iwasakijunichi.net

▼ 本部：岩崎私宅

▼ 支部：メンバー私宅

▼ 「岩崎純一のウェブサイト」を稼働させているコンテンツマネジメントシステムの開発の継続

▼ 五名

▼ 通信システム部

● ウェブサイト管理班

・・・・このサイトを管理運営します。

● 通信システム整備班

・・・・「お話を聴く会」、「会いたい会」、「合同勉強会」の一部の回を遠隔開催したり、「岩崎式日本語」を使用している性被害・DV被害女性専用施設（シェルター、ソーシャルアパート、女子寮）の女性の方々との通信環境を整備します。「岩崎純一 CMS」も利用します。インターネットの使用制限、面会時間の制限、外出の制限、郵送

物の中身、親族・主治医以外の男性の立ち入りの制限がある中、「言語共同体」や「総合学術サークル」を目指していきます。

■ コンフィデンシャル女性部（女性専用ウェブスペース）

▼ 代表…長谷川彩、鈴木優子

▼ 補佐…岩崎純一

▼ メールアドレス：office-c@iwasakijunichi.net

▼ 本部…コンフィデンシャル（情報秘匿）型特殊女性寮 管理室

▼ 岩崎純一のウェブサイトを通じて生まれた、女性スタッフによる女性専用スペースの管理・運営（同サイト内）、および、精神障害や特殊症状などの女性（が入居する女性寮）と岩崎（女性寮の勉強会講師など）との交流

▼ 約三十名

▼ 代表部、図書部、通信システム部、コンフィデンシャル女性部

● コンフィデンシャル女性第一班

・…先の女性施設関連についてのシステム関連以外の手助けを行います。

● コンフィデンシャル女性第二班

・…男性出入り禁止の施設での岩崎についての会合の状況を岩崎に報告します。

■ ティールーム

・…岩崎と論議するティールームを女性部が設ける計画です。

■ 人文社会学部

● 岩崎人間学研究会

▼ 主宰…岩崎純一

▼ 副代表…武田あさる、江波戸優花、青柳香織、高橋夕花

▼ メールアドレス：ningengaku@iwasakijunichi.net

▼ 本部…岩崎私宅

▼ 支部…コンフィデンシャル（情報秘匿）型特殊女性寮 談話室

▼ 支部…発達障害・学習障害男性訓練施設

▼ 言語学・哲学サークル

▼ 約十名

▼ 人文社会学部 岩崎人間学・哲学班

● 岩崎式日本語研究会

▼ 代表…岩崎純一

▼ 副代表…武田あさる、江波戸優花、青柳香織、高橋夕花

▼ メールアドレス：isrelangs@iwasakijunichi.net

▼ 本部…岩崎私宅

▼ 支部…コンフィデンシャル（情報秘匿）型特殊女性寮 談話室

- ▼ 言語学・哲学サークル
約十名
- ▼ 人文社会学部 岩崎式日本語班
- 岩崎式日本語ペディア
代表…岩崎純一
- ▼ 副代表…武田あさる、江波戸優花、青柳香織、高橋夕花
- ▼ メールアドレス：isrelangs@iwasakijunichi.net
- ▼ 本部…岩崎私宅
- ▼ 支部…コンフィデンシャル（情報秘匿）型特殊女性寮 談話室
- ▼ 言語学・哲学サークル
約十名
- ▼ 人文社会学部 百科事典班
- 寿羅穂里阿文明（岩崎式文明論）
代表…岩崎純一
- ▼ 副代表…武田あさる、江波戸優花、青柳香織、高橋夕花、吉川りせ、道満幸江
- ▼ メールアドレス：isrelangs@iwasakijunichi.net
- ▼ 本部…岩崎私宅
- ▼ 支部…岡山県内社家（巫女宅、神社）
- ▼ 言語学・哲学サークル
約十名
- ▼ 人文社会学部 文明創作班
- 神道・仏教研究
主宰…岩崎純一
- ▼ 副代表…武田あさる、江波戸優花、青柳香織、高橋夕花、吉川りせ、道満幸江
- ▼ メールアドレス：shinto-bukkyo@iwasakijunichi.net
- ▼ 本部…岩崎私宅
- ▼ 支部…岡山県内社家（巫女宅、神社）
- ▼ 巫女と岩崎による宗教・言語学・哲学サークル
約五名
- ▼ 人文社会学部 神道・仏教班
- 岩崎純一の和歌集『新純星余情和歌集』翻訳プロジェクト
主宰…岩崎純一
- ▼ 副主宰…長満たき、戸井留子、青柳香織
- ▼ メールアドレス：wakashu@iwasakijunichi.net
- ▼ 本部…岩崎私宅
- ▼ 支部…巫女私宅
- ▼ 古典サークル
約十名
- ▼ 人文社会学部 和歌集編集班

- 伝統和歌の会 余情会（共感覚者和歌の会を吸収）
- ▼ 代表…長満たき、岩崎純一
- ▼ 副代表…戸井留子、青柳香織
- ▼ メールアドレス：yoseikai@iwasakijunichi.net
- ▼ 本部…岩崎私宅
- ▼ 支部…巫女・舞妓私宅、神社社務所
- ▼ 古典サークル
- ▼ 約十名
- ▼ 人文社会学部 和歌会班
- 大日本帝国陸軍岡山歩兵第十連隊・岡山近衛兵将校子孫会（岡
将会）
- ▼ 代表…岩崎純一
- ▼ 副代表…道満幸江、吉川りせ
- ▼ メールアドレス：okayama@iwasakijunichi.net
- ▼ 本部…岩崎私宅
- ▼ 支部…岡山県内の巫女・舞妓私宅、神社社務所
- ▼ 岡山郷土部隊研究サークル
- ▼ 約五名
- ▼ 人文社会学部 岡山県・近衛兵軍事史班
- 自然科学部

- 岩崎純一の共感覚データベース
- ▼ 代表…岩崎純一
- ▼ 副代表…小野薫枝、樋川夜涼
- ▼ メールアドレス：synaesthesia@iwasakijunichi.net
- ▼ 本部…岩崎私宅
- ▼ 支部…コンフィデンシャル（情報秘匿）型特殊女性寮 談話室
- ▼ 知覚・神経科学サークル
- ▼ 約五名
- ▼ 自然科学部 共感覚データベース班
- 日本共感覚研究会（旧 日本共感覚関連動向調査会）
- ▼ 会長…岩崎純一
- ▼ 副代表…山本幸子、長谷川美咲
- ▼ メールアドレス：synaesthesia@iwasakijunichi.net
- ▼ 本部…岩崎私宅
- ▼ 支部…役員私宅
- ▼ 知覚・神経科学・薬物犯罪調査・児童虐待調査サークル
- ▼ 約十名
- ▼ 自然科学部 共感覚関連動向調査班
- 超音波知覚者コミュニティ東京
- ▼ 代表…岩崎純一
- ▼ 副代表…深田綾乃、樋川夜涼

- ▼ メールアドレス：choonpa@iwasakijunichi.net
- ▼ 本部：岩崎私宅
- ▼ 支部：メンバー私宅
- ▼ 知覚・音声学・音響学サークル、都内フィールドワーク
約十名
- ▼ 自然科学部 音声学・物理学研究班
- 精神・発達・行動部
- ▼ 代表：岩崎純一
- ▼ 副代表：佐々美世子、上野紗奈、伊田小春、佐々木愛華、高島
ひとみ、小山由香、江波戸優花、青柳香織
- ▼ メールアドレス：seishin@iwasakijunichi.net
- ▼ 本部：岩崎私宅
- ▼ 支部：コンフィデンシャル（情報秘匿）型特殊女性寮 談話室
- ▼ 支部：発達障害・学習障害男性訓練施設
- ▼ 精神病理学・精神疾患研究サークル、各種施設フィールドワー
ク
- ▼ ご協力者約二百名。うち約三十名が各サークルに分散所属
- ▼ 精神・発達・行動部（ICD・DSMの名称）とに便宜的に班分け
する）
- 統合失調症班

- ・ ・ ・ 交流会・勉強会で岩崎のもとに集まって下さった該当の方々
との交流を行います。
- 気分障害班
- ・ ・ ・ 交流会・勉強会で岩崎氏のもとに集まった該当の方々との交
流を行います。
- 不安障害・恐怖症・強迫性障害・PTSD 班
- ・ ・ ・ 交流会・勉強会で岩崎のもとに集まって下さった該当の方々
との交流を行います。
- 身体表現性障害班
- ・ ・ ・ 交流会・勉強会で岩崎のもとに集まって下さった該当の方々
との交流を行います。
- 解離性障害班
- ・ ・ ・ 交流会・勉強会で岩崎のもとに集まって下さった該当の方々
との交流を行います。
- 適応障害班
- ・ ・ ・ 交流会・勉強会で岩崎のもとに集まって下さった該当の方々
との交流を行います。

● 摂食障害班

・・・・交流会・勉強会で岩崎のもとに集まって下さった該当の方々との交流を行います。

● 睡眠障害班

・・・・交流会・勉強会で岩崎のもとに集まって下さった該当の方々との交流を行います。

● 性関連障害班

・・・・交流会・勉強会で岩崎のもとに集まって下さった該当の方々との交流を行います。

● 人格（パーソナリティ）障害班

・・・・交流会・勉強会で岩崎のもとに集まって下さった該当の方々との交流を行います。

● 知的障害班

・・・・交流会・勉強会で岩崎のもとに集まって下さった該当の方々との交流を行います。

● 発達障害・学習障害班

・・・・交流会・勉強会で岩崎のもとに集まって下さった該当の方々との交流を行います。

第八部 岩崎純一関連学術グループ・サークルの変遷表

二〇一七年六月十日 起筆

二〇一八年七月十六日 最終更新

別添資料を見よ。

第九部 よくあるご質問と回答

二〇一四年六月十四日 起筆

二〇一六年二月二十一日 公開

二〇一七年九月二十三日 最終更新

▼ Q. 岩崎さんはどこかの先生ですか？ 岩崎純一学術研究所は

どこかの大学の組織ですか？

（類似のご質問の中から一例を挙げ、原文ママ）

● A. 私（岩崎純一）は、仕事を別に持つ在野の個人研究者で、
サイト上にあるほとんどの学術・芸術活動は、副業（以前は個人
事業）として実施しております。

私は主に、現行の学校教育法や教育基本法とは異なる、温故知
新の学術世界を構築することを目標として、（学生当時、自分に

とつては物足りないと思えた）東京大学教養学部を中退し、東大をはじめとするおよそ五十の大学の教員・学生や一般国民・市民の方々に既存の教育界・教育制度の外側から学術研究や講義を提供している、在野の個人研究者です。

岩崎純一学術研究所とは、岩崎の屋号であり、どの大学や法人組織にも属さない、自立した任意団体や民法上の組合、サークルの複合体です。

現在のところ、ほとんどの学術活動を岩崎の私費と個人支援者の皆様のご協力によって実施しております。ただし、大学（教員・学生）や研究機関に講師として呼びいただき、講義・ゼミ・勉強会などを実施・担当させていただいたり、あるいは、シェアハウス型の女性寮にお呼びいただき、勉強会などを実施・担当させていただく場合もあります。